

(独立行政法人教員研修センター委嘱事業)

教員研修モデルカリキュラム開発プログラム

報 告 書

プログラム名	ヒドウンカリキュラムの網羅的学習・省察に関するワークショップ型プログラム
プログラムの特徴	本プログラムは学校・教師の教育活動（文化・所作、各種環境整備、指導方法など）が児童生徒に与える意図せざる積極的・消極的影響（ヒドウン・カリキュラム）について学習するプログラムをワークショップ型「ワールドカフェ形式」で実施することにより、知識や具体例の網羅的獲得はもとより、参加者に学校及び自らの実践を効果的に省察し改善につなげる有効な思考ツールを身につけさせるとともに、自校の校内研修で同種のプログラムを行う方法を習得させるものである。

平成 26 年 3 月

北海道教育委員会

ヒドゥン・カリキュラムの網羅的学習・省察に関するワークショップ型プログラムの全体概要

目的

「隠れたカリキュラム(ヒドゥン・カリキュラム)理論」に着目し、関係機関と連携し、学校・教師の教育活動(文化・所作、各種環境整備、指導方法など)が児童生徒に与える意図せざる積極的・消極的影響について網羅的に学習するワークショップ型プログラムを開発する。

背景

○ 大量退職・大量採用期の到来
全国的に10年で教員の1/3が退職する。
→教師の資質能力の向上が喫緊の課題

○ 「学び続ける教師像」の提起
(平成24年中教審答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」)
→自らの実践を理論に基づき省察することが重要

省察を実効性のある形で研修システム及び教員の日常的営みに組み込む必要

プログラムの概要

- 「隠れたカリキュラム」の概念についての理解
- 各学校の「隠れたカリキュラム」の交流
 - ・参加者一人一人が思いつく自校の「隠れたカリキュラム」をノートテイクする。
 - ・グループごとに意見交流をする(ワークショップ)。
 - ・ワールドカフェやギャラリートークで意見交流をする。
 - ・各グループで発表する。
- 各グループの発表に対するコメント及び提起されなかった具体例の講義
- リフレクション(省察)シートの記入

※ 講義部分においては視覚に訴える工夫をする。

期待される効果

- ・教職生活を通じた省察・内省及び他者の授業観察の効果的ツールを与えることができる。
- ・「学校自身、教師自身が最大の教育環境である」という一流の教師なら誰もが賛同する考え方を分かりやすく伝えることができる。
- ・今後、対象を初任者以外にも拡大していくことにより研修参加者が各地域・各学校に戻って研修内容を踏襲して校内研修を実施し、参加者以外への波及効果が期待できる。

教員研修モデルカリキュラム開発プログラム 報告書

目 次

I	開発の目的・方法・組織	1
II	開発の実際とその成果	
	平成25年度初任者研修「一般研修」第3期「隠れたカリキュラム講座」の内容等	2
III	連携による研修についての考察	
	連携により得られる利点、連携を維持・発展させるために必要なこと、今後の課題等	3
IV	研修プログラム	
1	研修プログラム① 日高管内公立小中学校初任者研修	4
2	研修プログラム② 上川管内公立小中学校初任者研修	14
3	研修プログラム③ 釧路管内公立小中学校初任者研修	23
V	その他	38

I 開発の目的・方法・組織

1. 開発目的

・学校及び教師の教育活動（文化、所作、各種環境整備、指導方法など）が児童生徒に与える意図せざる積極的・消極的影響について網羅的・具体的に学習するワークショップ型プログラムを開発・実施することにより、学校及び教師が自らの実践を効果的・効率的に省察し、改善につなげる有効な思考ツールを身につけさせることを目的とする。

2. 開発の方法及び組織

・北海道教育委員会が民間教育研究団体に所属する公立小・中学校教員等と連携を図り、学校及び教員が児童生徒に与える積極的・消極的影響（ヒドウン・カリキュラム）について網羅的に学習するワークショップ型プログラムを開発・実施することを目的として、北海道教育委員会指導主事等及び民間教育研究団体に所属する公立小・中学校教員による「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム連携協議会」(以下「連携協議会」という)を組織し、書籍からの事例の収集及び道外の先進事例の視察などにより、おおむね下記のような手順でプログラムの開発・試行を行った。

(プログラムの開発・試行に係る取組)

時期	内容
H25.6	●「第1回連携協議会」の開催（H25.6.3） ～試行プログラムの作成、教育書の研究 ～外部講師による講話 「隠れたカリキュラムと教育指導の改善」神奈川大学特別招聘教授 安彦忠彦氏
H25.7	●「第2回連携協議会」の開催（H25.7.26） ～試行プログラムの作成、教育書の研究、視察報告
H25.8	●「第3回連携協議会」の開催（H25.8.9） ～試行プログラムの作成、教育書の研究 ●初任者研修「一般研修」第3期「隠れたカリキュラム講座」（日高）の実施（H25.8.27）
H25.9	●「第4回連携協議会」の開催（H25.9.6） ～試行プログラムの作成、教育書の研究 ●初任者研修「一般研修」第3期「隠れたカリキュラム講座」（上川）の実施（H25.9.10）
H25.10	●初任者研修「一般研修」第3期「隠れたカリキュラム講座」（釧路）の実施（H25.10.1）
H25.11	●「第5回連携協議会」の開催（H25.11.15） ～教育書の研究、報告書の作成、視察報告
H26.1	●「第6回連携協議会」の開催（H26.1.14） ～教育書の研究、報告書の作成 ●採用前研修「隠れたカリキュラム講座」の実施（H26.1.26）

Ⅱ 開発の実際とその成果

平成25年度初任者研修「一般研修」第3期「隠れたカリキュラム講座」の内容等

研修項目	目的	①対象、②人数	時間数	研修の評価方法 (○) 評価結果 (●)	※ 会場・講師・内容・形態・使用教材・進め方等について4頁以降参照
1	学校及び教師の教育活動（文化、所作、各種環境整備、指導方法など）が児童生徒に与える意図せざる積極的・消極的影響について網羅的・具体的に学習するワークショップ型プログラムを実施することにより、教師が自らの実践を効果的・効率的に省察し、改善につなげる有効な思考ツールを身につけさせ、自らの実践の傾向や無自覚な選択をメタ認知する。	①日高管内の公立小・中学校初任者 ②9名 (小5名・中4名)	60分	○アンケート ●参加者全員が研修講座に「満足した」と回答。	
2		①上川管内の公立小・中学校初任者 ②10名 (小4名・中6名)	60分	○アンケート ●参加者が研修講座に「満足した」(8名)又は「だいたい満足した」(2名)と回答。	
3		①釧路管内の公立小・中学校初任者 ②17名 (小11名・中6名)	120分	○リフレクション・シート ●参加者が「かくれたカリキュラムの大事さが「とても腑に落ちた」は(16名)又は「少し腑に落ちた」(1名)と回答。	

Ⅲ 連携による研修についての考察

1. 連携により得られる利点

- ・ワークショップ等の研修手法について、民間教育研究団体の手法を取り入れ、参加型の研修の充実を図ることができた。
- ・教育委員会と公立小・中学校教員等が連携を図ることにより、学校現場の実態に応じたプログラムを開発することができた。

2. 連携を維持・発展させるために必要なこと

・教育委員会と公立小・中学校教員等による組織（連携協議会）を設置し、連携を図りながら、次の①～③の取組を通して本プログラムの改善を図る。

- ① 初任者研修等、各種研修会で本プログラムを実施し、参加者の意見を収集する。
- ② 参加者それぞれが校内研修で本プログラムを積極的に実施し、成果と課題を取りまとめる。
- ③ 参加者が属する研究団体に本プログラムを積極的に実施し、成果と課題を取りまとめる。

3. 今後の課題等

（1）今後の課題

- ・開発年度においては、時間的制約から初任者を対象とする内容にとどまったことから、今後の課題としては、受講者の経験年数等に応じた研修の在り方について具体的に検討し、プログラムの高度化を図る必要がある。
- ・また、参加者が各地域・各学校に戻った後に、本プログラムによる校内研修等を実施する際のマニュアルを作成する必要がある。

（2）課題の改善内容

- ① 経験年数に応じた学ぶべき「隠れたカリキュラム」の具体例の追加。
- ② 中堅及びベテラン教員が各地域・各学校に戻った後に、本プログラムによる校内研修を実施する際のマニュアルの作成、留意事項の整理。
- ③ 「隠れたカリキュラム」の概念を用いて日々省察することができるリフレクションシートの作成。
- ④ 「隠れたカリキュラム」に関する推薦図書リストの作成。

研修プログラム① 日高管内公立小中学校初任者研修

- 【日 時】 平成25年8月27日(火) 15:30~16:30
【会 場】 新ひだか町公民館
【講 師】 義務教育課主査 伊藤伸一
【参加者】 公立小・中学校初任者9名(小5名・中4名)
【所要時間】 60分

本プログラムの特徴

- ・少人数によるKJ法を取り入れたワークショップやワールドカフェの実施
- ・教室環境等の写真の活用
- ・研修後、自校の「隠れたカリキュラム」をレポートする宿題

スライド1



(運営者) それでは、「隠れたカリキュラム」の講座を始めます。この講座では、説明・演習等を通して、学校・教師の意図せざる文化、所作、各種環境整備、指導方法などの「隠れたカリキュラム」やその影響について理解するとともに、自らの実践を省察し、今後の教育活動の改善充実を図ることをねらいとしております。講師は、学校教育局義務教育課、伊藤主査です。

(講師) よろしくお願ひします。

(初任者) よろしくお願ひします。

(運営者) はじめまして、こんにちは。私は、学校教育局義務教育課に

勤めております、伊藤です。よろしくお願ひします。

(講師) 勤務先は札幌になります。このように各教育局で初任者研修など、いろいろな研修をする

ときや推進事業をするときに各教育局と連携しながらやっておりますので、何回か教育局を回

っておりますが実は、私は日高管内の研修は初めてやってきました。短い、60分の講座です

けど、よろしくお願ひします。

(講師) こうやって現れると、皆さんも緊張したり、この人はどういう人だろうと思ったりしまし

よね。IK先生、こんにちは。私の第一印象はいかがですか。

(初任者) 前の講座でも見に来ていたので、新しい主査の人なんだな。見に来たのかなって感じ

です。

(講師) なんかない不思議だなんていう感じかな。じゃ、ST先生。私の第一印象はどうですか。

(初任者) 芸能人というと…

(講師) あついいですね、芸能人というと？

(初任者) 芸能人というと、名前はわからないんですけど、

(講師) 名前がわかんないんだ…(笑)

(会場) 歌を歌っている人。

(初任者) 歌を歌っている人？いわゆる歌手っぽい人？というイメージ、そうですね。ありがとうございます。

(講師) 実は私は皆さんと同じで教員でした。中学校の教員です。では、HN先生、私の専門教科は何でしょう？先生は英語っぽいですね。えっ、当たりですか。そうですね、では、私は何の教科でしょうか。

(初任者) 理科？

(講師) 理科っぽいのですか？ じゃ、隣の先生、お名前は、？

(初任者) S中のSKです。

(講師) S中？SSS中ですか？ じゃ、SK先生、どうですか。

(初任者) ほう。実は、私は社会です。

(会場) …すごい…

(講師) こういふふうには、だれかを見たとき「なんとなく、こうだな」と感じるものがありますよね。「この人、先生っぽいな」とか「中学の先生かな？」とか。

実は、学校についてもそういうことがあって、皆さんもそれぞれの学校に赴任したときとか、違う学校に行つたときとかに「この学校の雰囲気、ちよつと違うな」、「私が通つたときの学校とはちよつと違う気がするな」とか、何となくうまくは言えないけど、感じるものがありますよね。

(講師) そういうことに少しづつ焦点を合わせていて、今日は「学校ってこういうイメージ」、「学習指導ってこういうイメージ」、「教育課程ってこういうイメージ」、「カリキュラムはこうだ」とか、なんとなくわかっているような肌で感じているものの中に、ペールを少しず

つ刺いでいって、ここに「隠れたカリキュラム」と書いてありますが、ここにもうひとつ秘密が

あるのではないかと、隠れているものがあるのではないかと、そういうことを皆さんと一緒に、

60分考えてみたいと思います。

(講師) 実は、「隠れたカリキュラム」という言葉ですけど、職場であまり使うことはないかと思いま

すが、大学とかで既に耳にしたことがある人は？(1名挙手)お一人ですか。先生は聞いた

ことがある？

(初任者) 聞いたことがあります。

(講師) それでは8名の方が聞いたことがないとなると、(さらに1名挙手) あっ先生も聞いたことがありま

すか？ なかなか手が上がらないところを見ると、最近、注目されてきたもので

で、こういうことなのかと考えると、最近、注目されてきたもので

で、こういうことなのかと考えると、最近、注目されてきたもので

スライド2



(講師) これはある小学校の写真です。私たちはいろいろな学校に行くので、こういうふう

の様子を撮ってきてきます。この写真からどんな感じを受けましたか？
(初任者) 単純に楽しそうな感じに見えるんですけど、机がくっついてるのでやりにくそう感じがします。

(講師) ここですかね、はい、じゃ手を挙げた先生、どうぞ。

(初任者) なんか、雑然としているような、

(講師) 雑然としているような。じゃ、こういう机でずつといると、子どもたちは「はい、グループ学習になって」と先生に言われたときに、例えば1年間続けたときに、グループ学習のイメージはどんなイメージになるのでしょうか？ わくわくしたイメージでしょうか、それとも「グループ活動か…」って感じででしょうか。TD先生でしょうか。

(初任者) 何か、動きづらくなっていうイメージ。

(講師) 動きづらくなっていうイメージですかね。こういうふうにいるんな写真を見て考えていきたいと思います。



スライド3

(講師) これは別の小学校の下駄箱です。下駄箱自体は古いですが、どんな印象を持ちますか。E小学校の先生はどうですか。

(初任者) E小学校もだいたいこんな感じですよ。

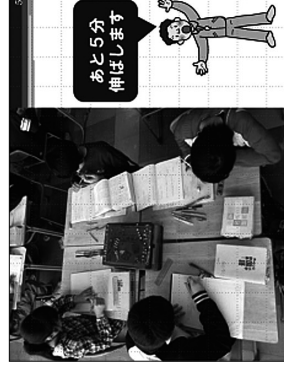
(講師) IK先生、どうでしょうか。くつの並び方とかどうですか。

(初任者) きれいです。

(講師) きれいですよね。ここで6年間過ごした子どもが身に付けたことと、揃えないで6年間過ごした子どもに身に付いたことの差はどのようなものでしょうか。ちよつと、想像してみてください。

こういうことを考えていくと、これで特に何をしなさいと子どもに教えているわけではなくいけど、こういうふうな学校の切り取られた場面や、状況が子どもたちにもどこういう影響を与えるのか、それがいい影響を与えるのか、悪い影響を与えるのか、ということがあるわけですよ。同じ、1年間なり、6年間なりを過ごしたときに、そういうことをもう少し見たいと思います。

スライド5



(講師) これも切り取った場面なんですけど、授業でこういうことありませんか。

グループ学習をしています。先生が「これこれの課題について10分話し合いますよ」、そして、間もなく10分になるとしていているとき、まだ、まとめきれいなという子どもが「時間を延ばしてほしい」と言った。

それで、先生が「じゃ、あと5分延ばします。」こういう場面がありませんか。あつ先生、大きく頷きましたね、先生、教科は何ですか。

(初任者) 国語です。

(講師) 国語ですか。どうですか。

(初任者) はい、あります。

(講師) ありますよね、私は社会科なので調べものの時間は結構とる方なので。

若い頃は、しよつちゅうやってましたね。「あと、5分」とかね。また、一生懸命やるんですよ、子どもは。

「先生、あと3分！」といわれると「じゃ、あと3分でなんとか、まとめよう」って。今日も、明日も、1年間を通して「あと、3分、5分」って延ばしていくとするとどうでしょう。そういう場面で考えてもらいたいのです。そうすると、この子どもたちに最初に与えられた「10分やりましょう」という課題はどうなるのでしょうか。

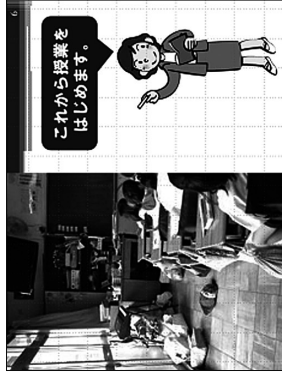
また、毎回5分延ばしてくれる、あの先生は必ず時間を延ばしてくれる、と受け取られるようになる、という影響を与えてしまうのでしょうか。SK先生ならどう考えますか。

(初任者) それが、当たり前になってしまおう。

(講師) そうですよ。それが当たり前になってしまっって、10分で取り組むという感覚が、「必ず先生に言えば、時間を延ばしてもらえらる」という感覚になると、だんだんと時間を守ろうとしなくなる。あと、この学級で授業をしているときは、時間というのはある程度、自分たちのペースで変えることができるんだって感じとるかもしれません。

また、そういう学級の雰囲気は「時間というのは、自分の都合で変えてもいいんだ。学級とはそういうものだ。授業とはそういうものだ。一生懸命やるんだら時間を変えてもかまわない」というようなことが、子どもたちに自然と身に付いてしまうかもしれない。そういうのを「隠れたカリキュラム」と考えています。

スライド6



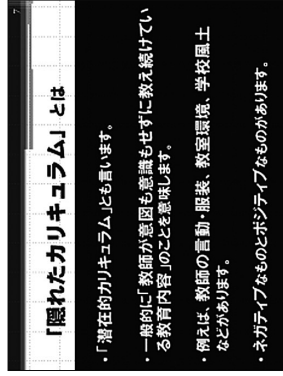
(講師) もう一枚の写真です。これもある学級の写真です。隠し撮りじゃなく、「今日、学校に行きますよ」って言うておいて、この写真です。先生、どうですか。

(初任者) なんか、先生のスペースが、すごい大きい。

(講師) ここですよね、それで思わず、シャッターを切ったというか。それ、この先生はここで授業をするんです。ということは、このクラスで授業をしている子どもたちには整理整頓という言葉はあまり、意味を持たない。

そして、「授業はみんなやりましょうね、みんなできつくりましょうね」といっててもあまり意味をなさない。こういうクラスで1年間過ごしてしまうとどんなことが身に付いてしまうのか。もちろん、先生は意図的にこんなに汚くしたわけではないでしょうけど、ここで生活している子どもたち身に付いてしまうことがあります。

スライド7



(講師) 「隠れたカリキュラム」は、ここではこの定義付けて話しを進めたいなと思います。「隠れたカ

リキュラム」とは別名、「潜在的なカリキュラム」ということもあります。要するに潜んでいますよ、ということですね。そして、教師が意図も意識もせずに教え続けている教育内容のことを意味しています。

だから、この写真のように、この先生だってはじめから「時間を守らなくていいですよ」と教えるつもりはないし、「教室は汚くてもいいですよ」と教えるつもりはないんですよ。ただ、続けているから子どもにも身に付いてしまうということなんです。

今、お見せしたのは、教室の環境や教師の言動ですね。これがある1つの教室だけではなくて、すべての教室で同じようになれば、それは既に学校の風土になっているかもしれない。そう見ると、学校全体の大きな「隠れたカリキュラム」もありますし、ある先生、ある教室固有の「隠れたカリキュラム」というものもあります。

先ほどからお見せした写真は、だいたいネガティブな「隠れたカリキュラム」ですけど、子どもたちにマイナスのことが身に付いていくという場面の写真が多かったです。

整然と並んでいた写真がありましたね。あれは比較的いいとネガティブではなくてポジティブな「隠れたカリキュラム」になります。このクラスにいると知らず知らずのうちに、人に配慮ができるよう子どもにも育っていくというポジティブなカリキュラムがあると考えるとができます。

(講師) 今まで写真を見てきましたけど、皆さんの中で「あれ？学校の中で学級の中でネガティブな隠れたカリキュラムなんじゃないか」と思いつくものありませんか。このあと、3つ書くんですけど、その前に思いついたもの1つありませんか。あつ、どうぞ。

(初任者) 教室で、気付いたら、いつの間にかチョークが補充されている。

(講師) なるほど、それはポジティブな方ですね、それは、いつでもチョークを使って生徒とかが発表できるよというようにといただれかの配慮があつて、自然と配慮することが身に付くということですね。

(初任者) その逆もあります。

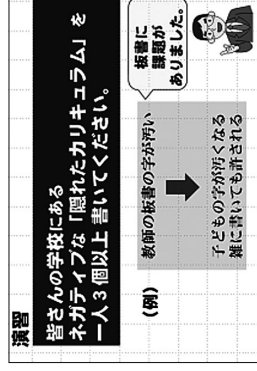
(講師) 逆もある？例えば？

(初任者) 全然、チョークが揃っていないという…。

(講師) そうか、なるほど。チョークが揃っていないよ、落ちていよ、全然、私には関係がないって…。

(初任者) そうということですよ。

スライド8



(講師) そういうことで、次にネガティブな方の「隠れたカリキュラム」を考えていきます。

例えばなんですけど、「教師の板書の字が汚い」ということなんですけど、1年間続けていたらある学級では、子どももだんだん字が汚くなるだけではなくて、「雑に書いたって関係ないんだ」、「とめ、はね、はらひ」なんて関係ないんだ、ということが身に付いていくネガティブなカリキュラムもあります。

(講師) それでは付せんを3枚ずつ配りますので、先ほど配った黒のサインペンで、「これは隠れ

たカリキュラムじゃやないか」と思えるものを上に書いて、そうすることで子どもにもどうな影響があるのかを矢印の下に書いてください。

付せんはありますね。時間は、さつき時間のこと言ったからね…3つなので、1つ思いつくのに2分として、準備1分として7分です。7分以内に皆さん、できていたら切り上げます。では、どうぞ。

〔付せんに記入中〕

〔講師〕みなさんは、すでにKJ法のやり方を知っていると思いますが、思いついたことをどんどん書いてください。

〔記入した付せんの記述〕

- ゴミを放置 → 教室が汚いま誰もひろわらない
- 給食のストロー袋が落ちたまま誰も拾わない
→ 教室が汚れても気にしない、他のゴミを落としても気にしなくなる。
- 教室内にゴミが落ちてもだれも拾わない → 衛生に対する意識低下
- ゴミが落ちても拾わない → 気にしなくなる
- 教室にゴミが落ちている → 身の回りに気付けない
- 児童用ロッカーが狭い
→ 全部入れようとしてぐちゃぐちゃ、ぎゅうぎゅうに入れるのがくせになる。
- 机上の整理、ランドセルの整理 → せまいとか支障があってもずらさない
- 書写セットと図工セットがきれいに置かれていない → 整理しなくなる
- 先生の机の上にものがたくさんある → 机の上を整理しなくなる
- 職員室の中も、先生の机も汚い
→ 教室だったり、生徒が周りの環境がさらさらでも気にしなくなる。
- プリントがくしゃくしゃでもスルー → プリントをきれいにたたまなくてもいいや
- 宿題プリントに名前を書き場所がない、欄がない
→ テストやノートにも名前がなくても気にしなくなる
- 教室に辞書がない → 調べなくなる
- 教室の電気をつけない → 子どもでもだれも気にしない
- 忘れ物をしてしまう(授業などで) → 忘れ物してもいいんだと思われる。
- 給食の敷物を持ってきていない → 持ってこなくていいと思われる。
- 先生が授業に遅れていく → チャイム席を守らなくてもよと思われる。
- 少し時間にルーズなところがある → 時間を守らなくなる
- チャイムが鳴っても授業が終わらない → 決められた時間を守らなくなる
- 先生が廊下を急ぎ足で歩く → 早歩き、走ってもいいや
- 先生が学校でたばこを吸う → だから自分も吸っていいってなる
- 給食で教師が好き嫌いで残す → 子どもも残すようになる
- 板書の字が汚い → 字が汚くなる
- 教師の言葉遣いがよくない → 子どもの言葉遣いが悪くなる
- 授業中でも、生徒と話しても意識しないで「バカ、アホ…」とかそういう言葉を教師側で使ってしまう → 生徒も生徒同士でも使うようになる
- 教師がいっぱい問題の多い生徒を「かわいい」と言う
→ 甘やかして多少のことは許されると思う
- 制服のシャツの裾が出ている → TPOが身に付かない

〔講師〕(記入中に周りながら) そんな感じですね、いいですね。こうしてみると、皆さんが書いて


た例のほうが全然いいですね、わかりやすいですね。あっ「全然、なんか、いい」っていうのはあれですね、変な言い方ですね。(笑) 時間でいうと今、4分です。

〔講師〕時間になりました。次のグループですけど、この三人と、このことと、S K先生と、あれ、S K先生、お二人いるんですね。あれ、もしかしてご夫婦？違いますよね(笑) すみません。(笑)

スライド9

ワールド・カフェで深めましょう 1

- (1) 3人グループで「ホスト」を決めます。
- (2) 「ホスト」以外は「旅人」になります。
- (3) 「ホスト」と「旅人」は、「ピンクの付せん」に書いた「隠れたカリキュラム」の具体的な書き込みを交流します。
- (4) 「隠れたカリキュラム」は、どこに課題があるのか、キーワードを「黄色の付せん」に書きます。



〔講師〕このあとですね、ワールドカフェをやりますんですけど、ご存じですか。何か変な英語ですけどね。カフェといっても別にコーヒーも出てきませんし、何もできません。協議のひとつのやり方です。

3人1グループで進めていきます。3人で仲良く話しをします、先ほどの付せんをもってですね。こちらに座る方は一番最初は、この先生方をお願いします(講師が指名)。

ここがホストになります。迎える側ですね。あとの方は旅人になります。ホストと旅人の3人が先ほどのピンクの付せんを3枚持って、「隠れたカリキュラムってこういうのがあるんだよ」って、情報交流をしてください。

情報交流で「やっぱりそれは隠れたカリキュラムなんだな」っていうことになったら、それはどこに課題があるのかっていうことを、テーブルに置いてある黄色の付せんに書き出してください。例で言うと「板書そのものに課題があった」「先生の発言に課題があった」「先生の服装に課題があった」「教室環境に課題があった」と。課題をキーワードで書いてください。キーワードを書いて、1回目の交流は終わりです。

スライド10

ワールド・カフェで深めましょう 2

- (5) 「ホスト」を渡し、「旅人」は他のグループに旅立ちます。
- (6) 「ホスト」は、元のグループでの交流の様子を説明します。
- (7) 「旅人」は、元のグループで交流したことを紹介し、共通点や相違点を考えます。
- (8) 交流後、新しい「ホスト」を決め、「旅人」は次のグループに旅立ちます。
- (9) 本次のグループでの交流方法は同じです。
- (10) 最後に全体でシェアします。

〔講師〕2回目の交流は、私の方で時間を区切ってやりますので。

その場合は、ホストは自分のグループに残ってください。二人一組のグループには行かないで、

お二人はそれぞれ違うグループに行ってください。二人一組のグループには行かないで、どちらかがどちらかのグループに行きます。

そしたら、また新しい三人グループができますよね、そのときには、ホストの方は「元のグループでこんな交流をしたんだよ」っていうことを説明してください。旅人二人は、「私たちのグループでは、こんなことを交流したんですよ」って交流してください。イメージで

きましたか。

今日は、人数が少ないんで2回目でもやめますが、人数がいると2回目、3回目と続けることもできます。そして、最後に全体でシェアします。これは私の方で進めます。じゃ、サインペン、付せんをもって移動してください。時間は、そうですね、5分間にします。

【ワールドカフェ1回目】

(※グループでの話し合いで聞き取れた一部を記載)

(講師) いいですね、みなさん、すでにテーブルに付せんをはって、KJ法のようにやってくれていますね。



(初任者) T Tとかで入っていると、電気が付いてたり、付いてなかったり、この先生何をしていたのかなって思ってしまうことがある。

(初任者) 何か甘えている子をそのままにしておく先生がいて、それでいいと思ってしまう。

(講師) それじゃ、時間になりましたので、協議は途中だと思えますけど、移動します。付せんはそのまま置いてください。2回目始めます。時間は、少し延ばして、6分になります。少しと言っても1分だけですけど。

【ワールドカフェ2回目】

(※グループでの話し合いで聞き取れた一部を記載)



(初任者) 教室はとりあえず帰るときはきれいにするけど、職員室とか自分のスペースの美意識はちょっと。

(初任者) 辞書がないとすぐに子どもは聞いてくる。そんなときは、「自分で調べろよ」と思ってしまう

(初任者) 給食で嫌いなもの食べないと、子どもは食べなくなっちゃうでしょ。

(初任者) 教室が汚いとやりなおししている。授業をつぶしても、やりなおし。

(初任者) でも、何気に職員室って誰が掃除するかわからないよね。

【ワールドカフェ シェアリング】

(講師) では、2回目終了です。付せんはそのままでいいです。元の席に戻ってください。ありがたうございます。ネガティブな話をするということで、あまりワクワクはしなかったと思いますが、協力してくださってありがとうございました。

(講師) もう少し人数が多いと、2回、3回とできますし、中学生だと付箋紙を使って同じように学級でもできるのではないかと思います。

ここでは、こんなことができてしまったよっていう交流はしません。一通り、情報交流はしたと思いますので。

(講師) やってみて、どうでしたか。これってもしかして、自分のことか？とか思い当たったことはありますか。心が痛いとか、どうですか。はい、どうぞ。

(初任者) やっぱ、言葉遣いが、よくないと子どもも悪くなると言われて、自分も気を付けなくちゃなと思っはいるんですけど、なんか。

(講師) そうですか、あつ、先生はどうですか。はい、どうぞ。

(初任者) 私も言葉遣いです。

(講師) ほう、言葉遣い。はい、それで。

(初任者) 国語の先生なのに、「全然、大丈夫」とか、

(講師) あっさつき、私も遣いました(笑)

(初任者) そう、ふとした瞬間に出してしまったりとか。

(講師) そうですよね、国語の先生が「全然、大丈夫」とかって言ったら、その子どもは、作文コンクールとかにも「全然、大丈夫」って書くかもしれないよね、そういうことですよ。

(初任者) はい。

(講師) そうすると、子どもは「国語の先生が遣っている」という理由を付けするまでもなく、染みついてしまうということですよ。

(講師) ところで、数はどうでしたか。出てきた数は、

(初任者) 思いつかないところがありました。

(講師) そうですよね、こういうところもあつたのかというね。先生はどうですか。

(初任者) 小学校と中学校ではちよつと違うようなところがあつた。

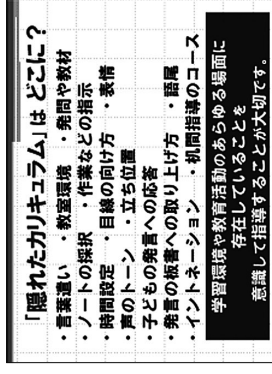
(講師) それもいい気付きかもしれないですね。小学校の先生としてはこの半年間の過ごし方もありますけど、同じ内容であっても、これを「ネガティブな隠れたカリキュラムか」という感じとか、「これくらいはいいじゃないか」という違いは感じましたかもしないですね。

スライド11



(講師) それで、まとめですけど、「隠れたカリキュラム」って隠れているわけですよね。別にラベルが貼っているわけじゃない。隠されているというか、1枚薄い皮で隠されているというか。見えるようで見えないとか、そういうところにあるわけです。

スライド12



(講師) ですので、「隠れたカリキュラム」はどこに?と問われたときには、皆さんは黄色の付せんに「こんなところに」と記入していただきましたけど、「先生の言葉遣い」じゃないか、よく出てきたのは「教室環境じゃないか」、それから、「この子どもの行動は問題があるから、先生は

毅然とすべきだな」と思っているけど、その先生はいつも優しく、その子をかわいい、かわいいと言っていると、その行動は許されるのか、となってしまうから、「子どもへの発言や応答」なども関係するかもしれません。

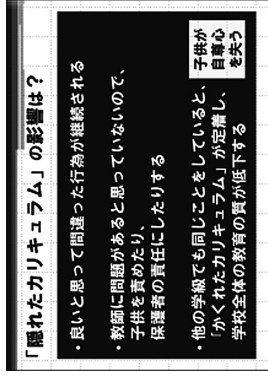
それから「ことば、イントナーション」など、こういうあらゆるところに、学習環境や、ここ大事なんです、学習環境や教育活動のあらゆる場面に、「隠れたカリキュラム」は存在する可能性があるし、実際あるし、こんな短い時間でもこんなに出てきました。

そうなれば、「意識して指導する」ということがすごく大事になってくるわけですね。

(講 師) 1 回目の意識ってというのは、「隠れたカリキュラムってあるんだよ」ということを意識することですね。そうですよ。「まったく、そんなのいないんだ」じゃなくて、「隠れたカリキュラムってどこかに必ずあるんだな」って。皆さんは今、気付いたんですよね、どこかに必ずあるって。

それが、どこの場面なのかによって気付いたときの切り取り方は、例えば、黄色の付せんから書いてもらった「学校環境」だったり、「教室環境」だったり、「先生の態度」だったりということになると思います。

スライド13



(講 師) どういう影響があるのか、とまとめてみると、ほとんどの先生は良かれと思ってやっているんですよね。子どもにも悪影響になるって思っていることは、あまり最初からやらないものですよ。

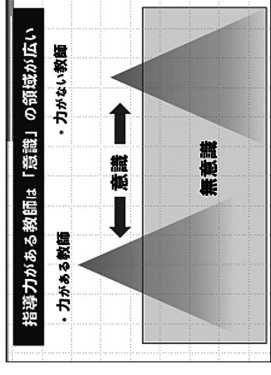
例えば、わざと教室を汚くすることによって、生徒にいい影響があるなんて思っている人はいないから、わざとやっている人はいないと思っただけで、意識してやっていないから、また、良かれと思っただけでやることが実は、間違っただけで、それが継続されている。これが1年間。これが学校単位で6年間もしれないし、小中同じ、一般的に先生方がそう思っていたら、9年間それが継続されているかもしれません。

(講 師) もう一つの影響は、教師がもともと影響があると思っていないので、なぜ、子どもにも悪い影響となって現れるんだろうというところが、その原因は子どもにもあるんだ、もしくは家庭にあるんだ、だから、子どもとか家庭などに原因を求めて、本当の原因を求めて解決しようとするんじゃないという、大きな影響が出てきます。

そしてもう一つ、自分の学級だけではなく、隣の学級でもやっているとその「隠れたカリキュラム」というのは、学校全体の教育の質を低下させてしまうということにつながってしまいうということですよ。

もう一つ、「隠れたカリキュラム」のネガティブの影響を続けていくと、子どもの自尊心が失われていくという大きい影響につながっていくというふうになります。

スライド14



(講 師) 先ほど、先生方の中で意識していたか、していないかということがありました。これを図にしてみると、これです。

先生の力というか、指導力は一人一人によってそんなに力の差はないんですけど、いわゆる指導力のある先生、「この先生は指導力があるな」または同じ学校にいて「あの先生すごいな、あの先生みたいになりたいな」と憧れてみる先生の指導力というのは、その先生自身がスーパーマンというよりは、その先生がいろんなところに意識を働かせている量が多い先生ほど、指導力が高まるというふうに考えられませんか。

(講 師) 「隠れたカリキュラム」ひとつでも、先ほど、先生でしたか「教室の電気を付けたら、消したり、なぜ意識をしないんだろう」と先生は気付いたけど、あまりよくない学級は、その先生はもう全く意識が向いていないわけですよ。

意識が向いているとひとつずつ改善されることだったのに、意識が向かないと改善されないうまま放っておかれる量が多くなってしまいます。

ですから、それを逆に見ると、指導力がある先生とは実は、ものすごいスーパーマンというよりは、いろんなところに、目配り、気配り、心配りをする、意識をする、その量が多いので、ネガティブな「隠れたカリキュラム」の芽をうまく摘み取ることができる先生、それが実際にには指導力がある先生。

皆さんは、今年1年目なので、どう過ごしていくかと考えたときに、どの学級にも学校にも「隠れたカリキュラム」があるということに意識を向けて、それぞれの学級や学校に戻ったときには、「これは隠れたカリキュラムなのか」という意識を高めていったらどうでしょうかな。

スライド15



(講 師) 「隠れたカリキュラム」のもう一つの見方ですけど、この写真はある教室の様子です。どの教室に行ってもこれです。ランドセル、鍵盤ハーモニカ、下はお道具箱ですね、作品、どの教室にいてもこの形。

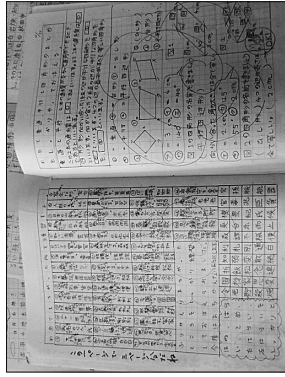
どの教室もこれなので、いつも揃っていて安定していて教室が居心地がいい。みんな揃うという心地よさを知っている学級ですよ。

でも、これを私は言葉で説明したけど、小学校1、2年生はわからないし、中学生だって説明が長いといやですよね。

(講 師) こういう言葉があります。「徳教は耳より入らず、目より入る」

福澤諭吉の言葉ですけど、よい教育というのは説明だけではなく、目から入り込んでくるので、教室環境とか、それから、子どもの目に飛び込んでくるのは先生の所作ですから、その先生の所作からいろんなことを学んでいく。ぜひ、先生方もそういうことを意識して指導をしていただきたいと思います。

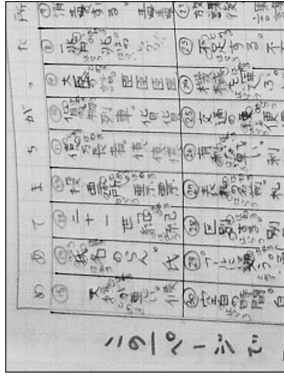
スライド16



(講 師) これもある小学校の自主学習のノートです。このノートは四角形があつて、たしか4年生だったと思いますが、これ自主学習なんですけど、私がすごいなと思うのは、まず、字がきれいですね。だいたい、このクラスはみんな字がきれいでした。先生の字はこれですけど、「この1ページで3ページ分だね」って褒めてますね、褒めてます。

それぐらい一生懸命がんばったもね、ということなんですけど、もつと見てもらいたいのは実はここなんです。ここは、拡大しますね、見えますか？何、見えますか？先生、どうですか。

スライド17



(初任者) 赤いので、はめるとか、はらうとか。

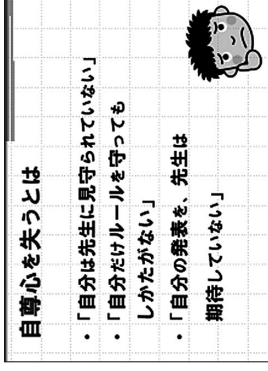
(講 師) そうですよ、最後に、明るく終わった方がいいかなと思って、ポジティブな方の隠れたカリキュラムを持ってきました。

このクラスの先生は、漢字はしっかり書かなくちゃならないということを、常に「とめ、はね、はらい」に注意して指導してらるんですね。ですの、この子どもも家庭学習でやっていると、さ、ここはとめる、ここははねる、ここははらう」と、きちんと自分で確認してから漢字を書く癖が自然とついていたということ。

「こうしなさいよ」ではなく、先生が常にこうしているから、こういうふうに通強するもんだと自然に身に付けていくこと。これはポジティブな方のカリキュラムです。

こうしていくことで、この子どもは字も覚えられるし、きれいなし、褒められるし、毎日毎日こうして続けられる。

スライド18



(講 師) 最後に自尊心について。

私はこう思うんですけど、「自分だけルールを守ってもしかたがない」と、子どもが思うようになりませんか。汚い教室のままでもいいんだとなったら、せつかく自分はきれいにしようと思ってるのに、「自分だけやったって、しょうがないんだ」という、前向きな心が傷ついてしまうっていう、こういう自尊心を失うこと。

それから、これは私も耳が痛いんですけど、生徒を当てるで「〇〇さん、どう？」って順番に答えてくれるのに、答えられない子がいる。時間がなくて、そのときに「じゃ、次の人、どう？」って簡単にとぼしちゃう。そういうことを繰り返していくと、このクラスには「わからぬことば」と、黙っていてもいいんだ」というネガティブな部分と、その子にすると「先生は、どうせ、私の答えを待ってはくれないんだ」ということが自然と身に付いてしまう。そういうことが自尊心を失わせることになっていきますよ、ということなんです。このあたりのこと、先生方には感じてもらっていただければと思います。

スライド19



(講 師) これは漫画ですけど、これは先生はがんばれば何だってできるというけど、できないことだつてあるんだよね、という子どものつぶやきです。

最後のおちは、「だって、どんなにがんばったってオリンピックに出られないやうだつているのにな」という、つぶやきです。教室で、「だって」とか「でも」とかいふ、つぶやきが出るって危ないといわれますが、まあ、こういうことなんです。

振り返り

- ・今日の研修を振り返り、リフレクションシート【受講時間】に記入し、講座終了後、運営者にお返しください。
- ・リフレクションシート【受講時間】は、全員分コピーして精算いたします。
- ・【事例取組シート】は、学校に戻ってから記入し、教務局に提出します。
- ・教務局は【事例取組シート】を取りまとめます。

(講師) では、予定していた時間になりましたので、講座を終わりますが、忙しかっただかもしれませんが時間が終わりました。
 御協力ありがとうございました。
 (※リフレクションシートの記入、提出については日高局運営者が説明)

平成25年度初任者研修第3期「隠れたカリキュラム」研修講座 アンケート

所属名	
職名・氏名	

選択式の回答は、当該マーク欄のマーク①（または②③④）を塗りつぶしてご回答ください。マークの○内は塗りつぶしてください。

以下のそれぞれの質問で当てはまるもの一つにマークをしてください。

- ①…そう思う ②…だいたいそう思う ③…あまりそう思わない ④…そう思わない

1 「隠れたカリキュラム」研修講座の内容に満足している。

マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

2 「隠れたカリキュラム」に対する理解を深めることができた。

マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

3 「隠れたカリキュラム」を学んだことは、自己の教育活動の改善に役立てられる。

マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4 今回のようなワークショップを研修講座に積極的に導入してほしい。

マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

5 講座の説明や運営形態は適切であった。

マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

6 ワールドカフェに積極的に参加しようと努めた。

マーク欄	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

◆ 講座の改善点をご記入ください。

平成25年度初任者研修第3期「隠れたカリキュラム」研修講座リフレクションシート【受講時用】

所属名	
職名・氏名	

本シートは、参加者が、講義・演習を基に各自のこれまでの取組について整理し、今後の実践に生かす方策を検討するための補助として活用するものです。

＜記入の手順＞
 「隠れたカリキュラム」の記入欄には、講義や演習の内容から、印象に残った「隠れたカリキュラム」を3点記入する。
 自己評価の欄には、それぞれの「隠れたカリキュラム」について、自分が意識せず悪い影響を与えているときは「X」、意識していないが悪い影響を与えていないときは「△」、意識して悪い影響を与えないよう努めているときは「○」をつける。改善策の欄には具体的な対策を記入する。
 このシートは1日目の終了時に提出してください。
 提出いただいたシートはお返しします。

■ 印象に残った「隠れたカリキュラム」

① 隠れたカリキュラム：教師の言葉づかいが良くないと、児童の言葉づかいも悪くなる。いく。	改善策 教員になった時に、1箇所意識していた部分だったので、忘れたら思い出した。今回の講座で思い出させてよかった。日常的に言葉づかいは注意して生活可としたと思う。
② 隠れたカリキュラム：教師が出された物を子ども、児童への言葉かけの如果が薄れる	改善策 、確認をとれぬように努めた。児童に言台していることをそのまゝ自分へ、投げかける。
③ 隠れたカリキュラム：ごみで落ちたまゝ	改善策 教員が「何人か拾うなど、手癖を子どもに教える、見せられるよう意識的に取り組む。

平成25年度初任者研修第3期「隠れたカリキュラム」研修講座【事例収集シート】

送信先	〇〇教育局	所属名	
FAX番号	046-222-1323	職名・氏名	

本シートは、参加者が、研修を踏まえ、自校の「隠れたカリキュラム」の事例を見つけて、整理するものです。記入後、教育局に提出していただき、事例集を作成する予定です（氏名は掲載されません）。

＜記入の手順＞
 (1) 「隠れたカリキュラム」具体例の記入欄に、研修終了後に自校に戻り、主に自分が担当する学級の学習環境や自分の言動などから見つけた「隠れたカリキュラム」について1～3点記入する。
 (2) 項目1の「考えられる影響及びその改善策」の記入欄に、ネガティブな「隠れたカリキュラム」の児童生徒への影響及びその改善策を記入する。
 (3) 項目2の「考えられる影響」の記入欄に、ポジティブな「隠れたカリキュラム」の児童生徒への影響を記入する。
 ※このシートは研修終了後おおよそ1週間を目途に提出してください。
 ※事例の収集については、学校計画研修の時間を活用してください。

1 私が見つけたネガティブな「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」具体例	
(記入欄)	
① 教室によく机がゴシゴシが落ちている	
② 先生がくつのかかとを踏んで歩く	
③ 言葉遣いがおかしい、乱暴、考えられる影響及び改善策	
(記入欄)	
① 大きいゴシゴシが落ちているように感じる	
② 子どももくつを踏んでいる	
③ 机が揺れる、子どもも言葉遣いが荒れかかっている	

2 私が見つけたポジティブな「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」具体例	
(記入欄)	
① 子どもにもっとも親切に対応している	
② 学年級通信でメッセージはめる	
③ 教室がいつもきれい	
考えられる影響	
(記入欄)	
① 子どもが子どもに親切に、優しい対応をしている	
② ほかの内容を他の人も手ねして、できようになり、している	
③ 子どもも落ちついて日々過ごせることができる	

9/30～9/6

◇ 実施上の留意事項、研修実施上の課題 (日高管内小中学校初任者研修)

○時間と内容

- ・ 講座の導入で、「隠れたカリキュラム」に対する関心を高めさせるため、写真を活用する場合には、気付いてほしい部分を拡大して示すなど、課題意識が焦点化されるような工夫をすることが大切である。
- ・ また、導入の段階では、写真だけではなく事例を説明したテキストも併用して活用することが有効である。
- ・ 講座の中で、参加者が自校の教育活動等を対象に「隠れたカリキュラム」を探す演習では、ネガティブな事例だけではなく、ポジティブな事例も探すように意識を向けさせることが大切である。
- ・ K J法やワールドカフェなどのワークショップを取り入れる際は、参加者が主体的に演習に取り組めるよう、ワークショップの趣旨や方法を説明する時間を確保することが大切である。
- ・ まとめの段階では、参加者の教師としての資質向上につながるよう、ネガティブな「隠れたカリキュラム」だけではなく、ポジティブな「隠れたカリキュラム」にも意識を向けさせることが大切である。

○使用教材

- ・ パワーポイント
- ・ 水性ペン、付箋紙
- ・ リフレクションシート 2種類

○形態

- ・ 60分の講義では、ワールドカフェではなく、グループ協議や一斉講義型の研修スタイルで対応し、意見交換の時間を確保することも有効である。
- ・ グループ編成は男女比、経験年数、小中教職員の構成などを組み合わせを工夫し、多様な考えを交流できるよう工夫することが大切である。

○成果と課題

- ・ 導入段階での写真から「隠れたカリキュラム」を読み取る活動の時間を十分に確保したことにより、参加者の「隠れたカリキュラム」への関心を高めることができた。
- ・ 短時間ではあったが、K J法やワールドカフェを取り入れたことにより、参加者はこれまでの教育活動や自分の指導を振り返り、内省するきっかけをつかむことができた。
- ・ 写真を読み取るだけではなく、テキストから読み取ることで「隠れたカリキュラム」を短時間で見つけ出し、そのカリキュラムが与える影響を深く考える時間を確保するなどの工夫も必要である。

研修プログラム② 上川管内公立小学校初任者研修

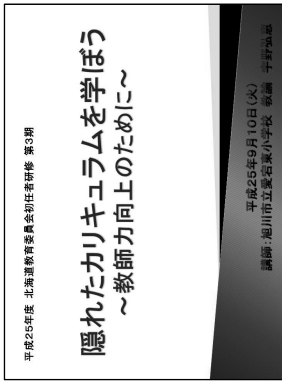
- 【日 時】 平成25年9月10日(火)
15時30分～16時30分
- 【会 場】 上川合同庁舎204号会議室
- 【講 師】 旭川市立愛宕東小学校 教諭 宇野 弘恵
- 【参 加 者】 公立小・中学校初任者10名(小4名・中6名)
- 【所要時間】 60分

本プログラムの特徴

- ・身近な事例から教育環境へと意識を広げていけるような流れ
- ・具体的場面を想起しやすい写真の活用や場面の設定
- ・個人思考と集団思考を通して、理解の深化と広幅化を図る流れ
- ・グループ交流はキャラクター形式

1, 身近な事例からの想起

スライド1



(講 師) 「隠れたカリキュラム」という言葉をご存知の方いらっしゃいますか。

(初任者) 聞いたことがあるような気がしますが。(1名のみ)

(講 師) あまり聞き慣れない言葉ですが、今日はこの「隠れたカリキュラム」を意識して私たちの教師力を向上していこう、という60分間とします。どうぞよろしくお願いたします。

スライド2

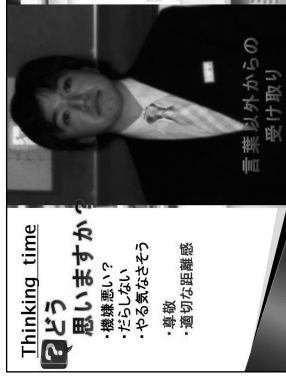


(講 師) この先生がもしこの表情で、こんな感じで教壇に立っていたとしたらどんなふうになりますか。

(初任者) ・上から目線。
・嫌な感じ。

(講 師) この先生、ちゃんと話を聞いてくれるのかなあと思う。

教壇に立ったとき、この先生を果たして尊敬することができるか、適切な距離感を保てないんじゃないかという気持ちを抱くかもしれないですね。では、服装を変えたり表情を変えたりしたらどうでしょうか。



(講 師) ちょっとイメージが変わりますね。決してこの先生の内面を知っているわけではないのですが、表情や態度、服装などを変えるだけで受ける印象は随分違いますね。言葉以外の要素からも受け取ることがあるのではないかと言うことを感じていただけたかと思えます。

スライド3



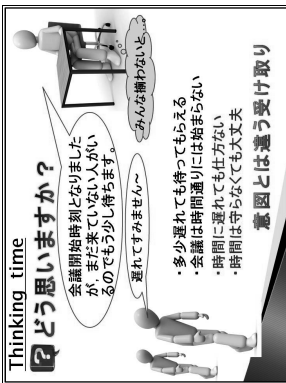
(講 師) これは職員室の先輩たちの机です。みなさんたちの職場にはベテランの先生もいらっしゃると思うのですが、周りの先生方の机の上がこうだったとしたらどう思いますか。

(初任者) ・忙しいんだろうなあ。

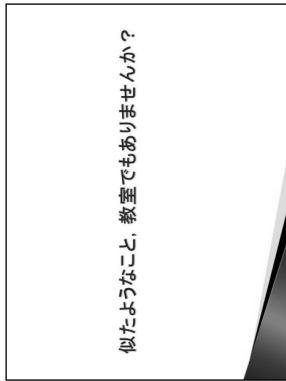
(講 師) 書類いっぱいあって忙しそうだと思いますが、はっきり言って汚いしだらしないですね。では、もしこの先生に、「おい、机の上きれいにしないでだめだぞ」と言われたらどう思いますか。

(初任者) ・これ、ここのセリアです。

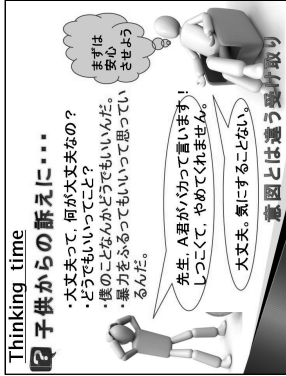
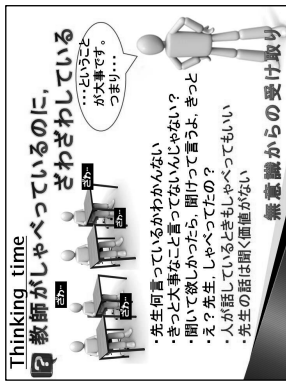
(講 師) もし周りの先輩方の机が全部こうだったとすると、だんだん自分が汚くても目立たないし、多少いいんじゃないかな、机上整理なんか重要なことじゃないかなと思うようになるかもしれないですね。



(講 師) 会議の開始時刻となりました。まだ来ていない人がいるのもう少し待ちます。司会は、みんな揃ってから始めた方がいいし、忙しいのだから待った方が親切だと思っ待って待って。しかし、これが常態化するとどうでしょう。遅れる人は「多少遅れても待ってもらえる」「会議はどうせ時間通りに始まらない」「時間に遅れるのは仕方がない」「時間なんて守らなくて大丈夫」と思うようになりませんか？いつも定刻通りに会議が始まらないと、これまできちんと時間を守っていた人たちまでもが、「どうせ待たされるのなら遅れて行こう」という気持ちにはなりませんか。



(講 師) 先生が話しているのに教室がざわついている、こんな経験ありませんか。この状況を教師が自覚しているならまだいいのです。が、教師は全く気にせず、教室がざわついているのに「いいかい、これはこうで、これは大切だぞ、わかったか」なんて話し続けることがあります。そうすると子どもは、先生が何を言っているかわかりません。だから、ざっと大事なことを言っているというのと判断するのです。聞いてほしかったら聞きなさいというに違いない、と思うのです。そうするとだんだん先生の話の注意が向かなくなり、「え？先生、しゃべってたの？」となるわけなんです。これが継続していくと、人が話しているときも話をしてもいい、先生の話を聞く価値がない、と学習してしまう可能性があるわけです。先生は全くそんなこと意識してないのですが、もしかしたら子どもはそんなふうを受け取っているかもしれないのです。

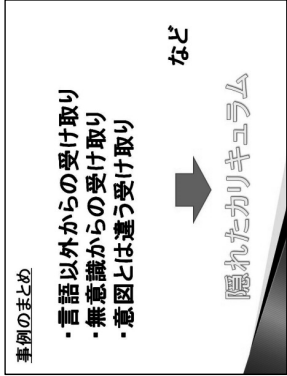


(講 師) 「馬鹿って言われた」「A君がしょくこい」と子どもが訴えてきました。先生は、まずは安心させようという意図で「大丈夫、気にすること無いよ」「あなたそんなに心配しなくても大丈夫だよ」と言っています。毎回このように先生が対応したとすると、子どもはどう受け取る可能性があると思いますか。

(初任者)

- ・何が大丈夫なの？自分じゃ重要じゃないんだ。
- ・大丈夫じゃないから言っているのに…

(講 師) 先生は言っても何もしてくれない。言っても無駄だ。今度から相談しないでおこう。これが繰り返されると、「僕のことなんかどうでもいいんだ」「どうせ話なんか聞いてくれないんだ」「暴力ふるってる別にいいんだ」そんなふうを受け取るかもしれないですね。決してそんなつもりで言っているわけじゃないけれども、意図とは全然違う受け取りが教室の中でもなされているかもしれません。



(講 師) 言語以外からの受け取り、無意識からの受け取り、意図とは違う受け取りのことを、「隠れたカリキュラム」と言います。

スライド9

隠れたカリキュラムとは？

- ・「潜在カリキュラム」(a hidden curriculum)とも言う。
- ・「教師が意図も意識もせずに教え続けている教育内容」のこと。
千葉大名誉教授・宇佐美寛氏(国際科長兼教員)(明治図書出版)

本来は正しいメッセージを伝えているつもり、悪いは、何も伝えるつもりがなくとも、相手は意図とは違うメッセージを受け取ってしまうことがある。

(講 師)「潜在カリキュラム」、「ヒドゥン・カリキュラム」とも言われます。普通、教育内容という正規のカリキュラムに則った教える内容を指しますね。この正規のカリキュラムとは別に、教師が意図せず教え続けている教育内容がある、これを「隠れたカリキュラム」というのです。つまり、本来の教えるべき内容の他にも、教師は無意識にいろんなことを教えているということ、先ほどの事例のように、正しいメッセージを伝えているつもり、あるいは、何も伝えるつもりが無くても、意図とは違うメッセージを教えてしまっていることが、教育活動の中にはあるということなのです。

(講 師) ではちょっとここから、教室の中にある「隠れたカリキュラム」について、皆さんと一緒に練習問題をしていきたいと思います。

スライド10

教室の中にある隠れたカリキュラム

どう受け取られる可能性があるでしょう

- ・教室はきれいに片付いていない
- ・物を大事にする必要はない
- ・落ちているものは拾わなくてもよい
- ・集団の中でも好き勝手なふるまっつてよい
- ・面倒なこととはあまわしてよい

(講 師) どうでしょうか、この教室。
(初任者) ・教師の机の周りが汚い。
・荷物が無造作に置かれている。
・どこに何があるかわからない。
(講 師) ひどいですね、これ。もし、あなたの教室が、ずっとこんな環境だったとしたら、子どもたちはここからどんなことを受け取る可能性があるでしょうかとね。お隣さんと1分ぐらいい話し合ってください。(そのうち発表)

(初任者) ・教室は汚くしてもよいと受け取る。
・物が落ちていても気が付かないし落ちていても気が付かないから、物は大事にしなくてもいいと受け取る。

(講 師) その他、「集団の中でも好き勝手にふるまっつてよい」「面倒なことは後回しでよい」などのメッセージを受け取る可能性がありますね。このままいくと心がずさんでいく可能性があります。見ると、人は見るものに影響されるということがあります。ニューヨークのブローク

ン・イン・ザ・ウインドウをご存知ですか。ニューヨークの地下鉄で窓ガラスが割られていたのを放置していた間とは犯罪が多かった。でも、それを片っ端から直していったら犯罪が減ったという事例です。その報告にもあるように、環境によって人の在り方も変わってくるということですね。そう考えると、環境ですごく大事じゃないですかね。

スライド11

教師の言動にある隠れたカリキュラム

どう受け取られる可能性があるでしょう

- ・教師の話は聞かなくてよい
- ・教師の話は聞く価値がない
- ・言いたいことは自分で言う
- ・先生の話を聞かなくてよい
- ・やらないと先生にやらないことをしよよい

(講 師) 教師の言動にある「隠れたカリキュラム」を考えてみます。子どもたちは一生懸命調べ物しています。実はこの時、先生が話している最中なのです。「教科書の39ページを開いたら7行目を見てくださいね、そこにはみんなが調べている漢字が出ていますよね」なんて一生懸命活動について説明しています。でも、子どもたちは、そんなのそっちのけで、もう自分の作業に夢中。この状況を聞いていたら、子どもはどんなメッセージを受け取ると思いますか。お隣同士で考えてください。(その後発表)

(初任者) ・先生の話は聞かなくてよい。
・やりたい時にやりたいことをしてもよい。
(講 師) 人の話を聞くときは人の方を向きなさいという指導をしていますよね。先生は、普段から口では言っているけれど、実際には、一人も話し手の方を向いていないのに話を続けているのですね。そうすると、子どもは「教師の話は聞かなくてよい」「教師の話は聞く価値がない」「人の発表も聞かなくてよい」と受け取る可能性があるわけです。また、みなさんからも出てきたように「やりたいときにやりたいことをしてよい」と認めていることになりませんか。また、先生の話し方に注目してみると、「言いたいことをとりとめなく、だから話せばいい」と学習するかもしれないですね。

スライド12

教師の言動にある隠れたカリキュラム

どんなメッセージが隠されていますか

- ・Aさんのことは、見てもよい
- ・Aさんは、努力しないダメ人間である
- ・Aさんは努力してもできない
- ・誰があつたら、頑張っても(感情別)なつてもよい
- ・人はかたくなでよいことを聞かなくてよい
- ・やっだ！おい！べり！なら早く！どうせはダメ人間だ！

(講 師) 最後の問題です。学級で先生が話しているのに、A君が勝手に手を挙げてあてられてもいいのに話をはじめてしまいました。先生はA君に向かって「Aおしゃべりをやめなさい」「手を下ろしなさい」「いい加減にしなさい」「何度言ったらわかるの」「もう5年生よ」「がんばらんまきや

だめでしょ」と注意するのです。こんなのが1年間ずつと教室で繰り返り広げられているとどうでしょう。どう受け取られる可能性がありますか。

(初任者) ・A君はダメな子。

(講師) ・A君、また怒られている。悪い子。

(講師) ・A君には強く物を言ってもいい。

(講師) そうですね。Aさんのことは、見下してもよい、Aさんは、努力しないダメな人間なんだ。努力してもできない子なんだと学習しているかもしれませんね。先生の態度から、腹が立つたら、怒鳴ってもよい、感情的にふるまってもよい、人はカづくで言うことを聞かすことができるかと学んでいるかもしれませんね。

(講師) A君の側から考えてみると「僕って、どうせダメな人間なんだ」と思いかもしれません。実際、毎回否定され続けていると冷たい気持ちになってしまいますよね。自己肯定感は低くなりますよね。実際にそういうお子さんいます。

(講師) 話しかけたいが故に、注目されたいが故に、わざとおしやべりをする場合もあります。こちらが話しているのにずつと話しかけてきて、そこでうっかりこっちは「こちら」なんて言うのと、こちらは、注意する、やめさせようと意図して注意をしているのに、子どもは「やった！注目してもらえた」と学習しちゃいかもしれないですね。「騙りばかまってもらえる」と学習してしまうと、次から行動がエスカレートしてくともあると思います。

3 説明により定義の理解を深める

スライド13

「隠れたカリキュラム」の怖さ

- ・良いと思っ、間違った行為を継続してしまう
- ・自分に問題があると思えないので、知らずに子供を責めてしまったり保護者のせいにしてしまう
- ・他の学級でも同じことをしている、間違った考え方や方法が定着し、学校全体の教育の質までもが低下してしまう

(講師) 「隠れたカリキュラム」の怖さは、よいと思っ間違った行為を継続してしまうことにあります。子どもがよくない行いをやめさせようと怒鳴るのですが、それを継続することによって子どもはよくはならず逆にもっと悪くなってしまうのです。教師は子どもがよくならないのは自分の指導が悪いからだと考えられないで、子どもにも責任があると思ってしまうのです。「またあいつ今も怖いぞっかり」「あの子はどうせこうだから」「あそこの家はこうだから」「保護者はわかっでないよな」そういうことで一向に自分を振り返ろうとしなない。子どもの責任に全てしてしまう。もしそれが、他の学級でも行われているとすると、学校はよくなりませんよね。学校全体の教育の質が低下してしまいます。それが「隠れたカリキュラム」の怖いところなのです。

スライド14

力のある教師は「意識」の領域が広い

- ・力のある教師
- ・力のない教師

(講師) 同じ指導場面に出会ったとしても、子どもを伸ばす先生と、なかなかうまくいかない先生が実際にはいます。その差は何かと言うと、意識と無意識の差なのです。意識できる領域が同じだと仮定すると、どれだけそれを意識できるか、どれだけ気づいて考えられるか、これが力のある教師とそうでない教師の差ではないかと考えます。

スライド15

意識の領域を広げるには？

- ・「経験を意図的に積み、整理することで実践の質を上げることができる」(※)
- ・意識の領域を広げるには、ある局面を切り取り、光を当てることが必要

※野口芳宏氏の言葉

(講師) では、意識の領域を広げるにはどうしたらよいか、それはまず、経験を積むということですね。でも、私は教師歴20年です、なんという経験の積み方じゃダメです。意図的に経験を積むということですね。この場面ではこうやってみよう、この場面ではこうやったら、子どもがこうしたから、次はこうしてみよう、などという、意図的な経験を積むということですね。これを整理しながら実践していくということですね。そうして行くうちに少しずつ、実践の質が上がっていきます。それから、ある局面を切り取り見て見るといいことです。どこをどのように切り取るかという話をします。

スライド116

どこに隠れている？

- ・ 教師の所作、服装、表情
- ・ 言葉遣い、声のトーン、口癖
- ・ 立ち位置、視線、机間巡視のコース
- ・ 教室環境、掲示物
- ・ 採択教材、ノート、学習用具の指示や許可
- ・ 給食や掃除などのシステム
- ・ 子供の反応や作業への対応や評価
- ・ 男女、個別への接し方

まだまだたくさんありますね

(講師) どこに隠れているかと言うと、最初のスライドで見たように、先生の立ち振る舞い、服装とか、言葉遣いや声のトーン。教室環境や、教材など全てのものに「隠れたカリキュラム」が隠れています。では、どうやってそれを見付けるかというと、時間や景色を止めて言語化するという事です。

スライド117

どうやって見つける？

時間や景色を止め、言語化する

- ・ 教室の環境の一部に目を留め、観察する
- ・ 写真に撮って見る(ビデオよりも写真がよい)
- ・ 授業を録音して聴く(できれば文字起こす)
- ・ 授業を公開して、他から意見をもらおう
- ・ 実験を他の人に語り、意見をもらう
- ・ 自分の実験や気づきを書く(字遣いや研究術)
- ・ 子供が書いたものを読む

etc

(講師) 教室環境の一部に目をとめて例えば観察する。例えば給食時間を写真に撮ってみるとか、ビデオ撮ってみるとか。画像や映像にして切り取ってみると見えやすいのです。授業を録音して聞くことをしている先生いますか？御自分の授業を録音して聞いたことありますか？ビデオに撮ってみたことありますか？一度やってみてください。自分の授業って非常に面白いので、ぜひこれ新採の時は毎日、できれば一週間に一回のペースでやることをお勧めします。

4 演習でイメージを広げる
【個人思考】

1 個人思考

・ 演習①
↓
自分の対応を付箋に書く
(1分30秒)

・ 演習②
↓
自分の対応を付箋に書く
(1分30秒)

・ 演習③
↓
自分の対応を付箋に書く
(1分30秒)

- 割合すらすらと書き始めた
- ②は小中での違いにより書きつらそうだった
- 時間がもう少しあれば、より多様な考えをかけただろう

スライド118

Thinking time

演習①

- ・ 廊下に整列させた後に、教室を見たら……



(講師) 廊下に整列させた後、教室を見たら、こんな感じでした。このような場面に出合ったときにあなたはどうしますか。あなたが普段されていること、もしくは、こんな場面に出くわしたことがないけど自分ならこうするだろう、こうしたらいんじゃないか、ということを書き紙に書き下さい。一枚に一枚項目です。下に名前を書いてください。

スライド119

Thinking time

演習②

- ・ 日ごろから、時間には厳しいあなた。算数の授業の終末、あと1問だけ解き方の解説をすれば、次の時間はテストができます。そのとき、チャイムがなりました。さて、あなたは……？

(講師) 算数の授業の終末、あと1問だけやれば、解き方の解説をすれば、次の時間はテストをすることが出来ます。そのとき、チャイムがなりました。でも、これ1問やったらテストでできるんだよね、さあそんなとき、あなたならどうしますか。同じように付箋に書いてください。

Thinking time
演習③

- 授業中、あなたが話していたら、ある子がそれに反応して話し出した。あなたがそれに反応して話し出しました。なかなか良いことを言っています。さて、どうしますか...

(講師) 授業中、あなたが話していたら、ある子がそれに反応して話し出しました。なかなか良いことを言っていると思います。あなたはどのような態度をとりますか同じように書いてください。

【集団思考】

2 集団思考(グループ内交流) 20分間

- 付箋を貼りながら、意見を述べる
- 似たものをカテゴライズしながら
- マジックでキーワード

ゴールのイメージの共有
事例を通して、イメージが膨らむ

- 活発に意見交流が始まった
- ややほり②の意見が割れる
- 終わりに「自分ほしはないけど、こういう可能性もあるよね」という考えも出てきた
- 時間が足りなく、消化不良の印象

(講師) まず、書かれた付箋を基に、ざっくばらんに話ししてください。話しながら付箋をお貼りください。似た考え同士をカテゴライズしながら机上の模造紙にお貼りください。机上にマジックセツトを1セツトずつ配っています。皆さんそれぞれが一本ずつ持ち、話の中ででてきたキーワードを書き出してください。書きながら話すというイメージです。きちんとしたものを整えるというのではなく、落書きしながら話し合いを進めるイメージです。きちんとしたものを書き出さず、すらすらと話し出してください。もしかしら共通の内容が出てくるかもかもしれませんね。そういうときには内容ごとに付箋を貼り替えてください。とにかくこの「隠れたカリキュラム」について、この事例を通して、こういうことも考えられるんじゃないかなというイメージが膨らむということが今日のねらいです。20分後に各グループの発表タイムを取ります。グループでどんな話し合いがされたのかということも1分ぐらいいろいでお話ししたいと思います。グループワークの後半ぐらには、どんなことを話したらいい？というところも話題にしてみました。付いたらいいかなと思います。

【グループ交流】グループトーク形式で

3 集団思考(グループ間交流) 1グループ1分間

- グループ発表
- どんなことが話し合われたのか
- コメント

■ 1グループの発表

子どもたちのルールがない。ぶれない指導を根気強く指導し、全体を通して約束、ルールを確立させる。よく気付いた子や認められているという指導が大切。

(講師) ぶれない指導は大切ですね。正直、人間ですでおれることもありますね。このぶれない指導をやるのに、私たちは、いかに4月の段階で、自分の中の信念というか、これはこうやっていこうということがいかに大事かということです。ありがとうございます。

■ 2グループの発表

「隠れたカリキュラム」について話を進めたがまとめた形にはならなかった。「隠れたカリキュラム」を子どもにもさせるとはさしてはくなく、きちんとしたい指導を継続することが大切である。徹底したぶれない指導が大切。

(講師) はい、ぶれないという話が、こっちでも出てきましたね。こちよとおもしろい話だったんですね。えーと小と小の中で演習3の対応が違うということで、なかなか興味深い話を聞かせてもらいました。ありがとうございます。

■ 3グループの発表

まともではできなかったが、叱ってばかりではなく、目標をもたせたり、できているところを目標に向けた指導を行うこともよい。子どもの話を聞いてから指導することが大切である。

(講師) 「隠れたカリキュラム」に正解はない。一つの事例に対して受け取り方によってそれぞれですね。先生がやったことに対して、必ず子どもがこう受け取るんだってことがわかれば、私たちの仕事は楽で、じゃこうすべいのものだということです。私たちは、こうしたときにこう受け取るかもしれないし、こう受け取られる可能性があるぞという、1つのコンテンツとして考えていただければ、今後の指導の幅が広がるかなと思います。どうもありがとうございます。

5 まとめ

スライド21

ボジティブな「隠れたカリキュラム」

- ある学校では、学年が進むにつれて歌声が良くなっていきます。下級生は、6年生の素晴らしい歌声を聞いて育ちます。つまり、「素晴らしい歌声」というのはこういうものだ。「一生懸命歌うことは楽しいのだ」という価値を、下級生は6年生の姿から学んでいるのです。
- ある学級では、教室のゴミを捨てるなど、言われなくても気が利かして動く子が増えていきます。それを褒めると「当たり前でしょう？」と不思議そうに頷きます。きれいな教室の心地よさを学習している子にとつて、ゴミが落ちれば捨てるのは当然のことなのです。

(講師) これまで「隠れたカリキュラム」について演習等を通して考えていただきました。今は、ネガティブ

なものばかり考えていただいたのですが、ポジティブな「隠れたカリキュラム」という考え方もあります。

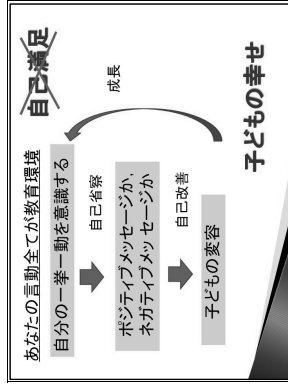
(講師) 例えばですね、歌がうまい学校ってありますね、6年生になれなくなるほど歌がうまい。それは、低学年が6年生の姿から学んでいるということですね、歌うって楽しいことを6年生の姿を通して学んでいる。小さい時からあそこがれているから一生懸命歌う、結果全校みんなが歌う。あるいは、ゴミを拾うのが当たり前という学級ありますね、それは、先生が口うるさく言うているからじゃないんですかね、もう、気持ちのいい環境がすでに子どもたちの中に定着しているのです、拾うのは当たり前だとなっているのですね。

スライド22



(講師) どうですか、これ、美しいですね、ランドセルもきちんとそろっていますし、作品なんかもきちんとそろっていますよね、実はこれ、ゴミが入らないような配慮なのです。一番下の段はランドセルが置かれていないのですね、一人一人を大事にしていますよという隠れたメッセージにもつながっていますよね。

スライド23



(講師) 最後です。とにかく、あなたの言動の一挙一動全てが教育環境だと思ってください。ご自分の一挙一動を意識するところから「隠れたカリキュラム」はスタートします。だから、自分を振り返ることが大切なのです。自分を振り返って今日はどうだったか、ポジティブメッセージとして子どもに伝わったか、ネガティブなものとして子どもに伝わったかなど。もし、それがネガティブなものだったとすれば、子どもに変われというのではなく、私たちが改善していく必要がありますよね。教師が変わること、子どもは変容していきません。子どもが変容することによって、私たち自身も教師としてさらに成長していくものです。それは、やがては子どもの幸せにつながるんです。私たちの仕事は、子どもを幸せにすることが第一の目的だと思います。決して私たちが仕事を楽するとか、私たちの評価が上がるとか自己満足のための仕事ではないのです。すべては子どもたちの幸せのために仕事をしているのだということを、

私も含めて考え続けていけたらなあと思います。

スライド24

リフレクション

今日の学びを個人で振り返りましょう。

(1)「隠れたカリキュラム」の大事さが、腑に落ちましたか？

(2)これからどんな「切り取り方」で、「意識」の世界を拓けていけそうですか？

以上をリフレクションシートに記入しましょう。

(講師) 「隠れたカリキュラム」の大事さ、大切さが腑に落ちましたか、これからどんな「切り取り方」で、「意識」の世界を拓けていけたらいいか、どの場面でやってみようかとかということを考えていたから振り返っていただけたらと思います。ありがとうございます。ありがとうございました。

平成25年度初任者研修第3期「隠れたカリキュラム」研修講座リフレクションシート【受講時用】

所属名	上川教育局
職名・氏名	0166-46-5242

本シートは、参加者が、講義・演習を基に各自のこれまでの取組について整理し、今後の実践に生かす方策を検討するための補助として活用するものです。
 <記入の手順>
 「隠れたカリキュラム」の記入欄には、講義や演習の内容から、印象に残った「隠れたカリキュラム」を3点記入する。
 自己評価の欄には、それぞれの「隠れたカリキュラム」について、自分が意識せず悪い影響を与えているときは「X」、意識していないが悪い影響を与えていないときは「△」、意識して悪い影響を与えないよう努めているときは「O」をつける。改善策の欄には具体的な対策を記入する。
 ※このシートは1日目の終了時に提出してください。
 ※提出いただいたシートはお返します。

■ 印象に残った「隠れたカリキュラム」

① 隠れたカリキュラム：
 誰かへの前で喋りつける(教員A言葉で)
 改善策
 叱り方の工夫が必要となるが、あの場面での注意は何か適切であるかは難しい。

② 隠れたカリキュラム：
 忘れられしているのに話し続ける子から教師
 改善策
 こらわが黙って待つという確りも対応としてよいかと思う。

③ 隠れたカリキュラム：
 物かぶるような状態の学級
 改善策
 子どもたちか「これくらいいいや」という思考になつてしまった。「私たちが靴に扱われるの心配」というふうな思いに思いついて「おや」と整備する。

平成25年度初任者研修第3期「隠れたカリキュラム」研修講座【事例収集シート】

送信先	上川教育局	所属名	
FAX番号	0166-46-5242	職名・氏名	

本シートは、参加者が研修を踏まえ、自校の「隠れたカリキュラム」の事例を見つけて、整理するためのものです。記入後、教育局に提出していただき、事例集を作成する予定です(氏名は掲載されません)。

<記入の手順>
 (1) 『「隠れたカリキュラム」具体例』の記入欄に、研修終了後に自校に戻り、主に自分が担当する学級の学習環境や自分の行動などから見つけた「隠れたカリキュラム」について1～3点記入する。
 (2) 項目1の「考えられる影響及びその改善策」の記入欄に、ネガティブな「隠れたカリキュラム」の児童生徒への影響及びその改善策を記入する。
 (3) 項目2の「考えられる影響」の記入欄に、ポジティブな「隠れたカリキュラム」の児童生徒への影響を記入する。

※このシートは研修終了後おおむね1週間を目途に提出してください。
 ※事例の収集については、学校計画研修等の時間を活用しててください。

1 私が見つけたネガティブな「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」具体例

(記入欄)
 ① 忘れ物に対して毎回出し出す。
 ② 忘れ物以外に毎回出し出す。
 ③ 問題を起すたびに、すぐに教師が処理する。

考えられる影響及び改善策

(記入欄)
 ① 生徒は頭ごなしに怒られ話しを聞かれないと教師に対する不信感を抱いてしまう。緊急性外は場合によっては話しを聞かさないようにする。
 ② 忘れ物を出してしまえばいいという感覚が定着してしまうことになる。
 ③ 周りの生徒が教員を怒らせないように、自発的に問題を起すようになる。また、生徒は頭ごなしに怒られ話しを聞かれないと教師に対する不信感を抱いてしまう。緊急性外は場合によっては話しを聞かさないようにする。

2 私が見つけたポジティブな「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」具体例

(記入欄)
 ① 生徒が机の下に板書の字を盗んで書く。
 ② 生徒の発言を増やし、生徒理解を深めたいために、休みの時間も生徒付近にいるようになる。
 ③ 生徒の登校時に毎朝モップをかける。

考えられる影響

(記入欄)
 ① 教師の字を盗んで、ノートにきれいな字を書くようになる。
 ② 生徒と教師の間だけなく、生徒同士の会話も増える。
 ③ 廊下に落ちていたゴミを拾う生徒が増える。

◇ 実施上の留意事項、研修実施上の課題 (上川管内小中学校初任者研修)

○時間と内容

- ・ 60分間にワークを入れるのは、窮屈であった。ワークが消化不良気味であった。思い切ってワークを割愛し、説明に徹する方がよいと考える。
- ・ いきなり本題に入ったが、雰囲気固くなってしまった。リラックスして主体的な姿勢で学ぶという意味でも、アイスブレイキングを行うべきだったと考える。

○使用教材

- ・ パワーポイント
- ・ 模造紙、水性ペンセット、付箋紙
- ・ リフレクションシート

○形態

- ・ 3人でワークを行った。異種校、異性を取り混ぜてグループにした。話合いの活性化を鑑みれば、1グループ4名が理想である。

○成果と課題

- ・ 隠れたカリキュラムについての概念は、概ね理解されたようである。受講者の身近な事例を取り上げたり、画像で具体的に提示したりしたことが理解につながったと考える。
- ・ 日常的に意識し、実践をリフレクションしながら修正していくには、年に数回研修の機会があると効果的であると考える。
- ・ 小学校と中学校の違いにより考えづらい点があった。個々の事例をどうするかということではなく、概念として「隠れたカリキュラム」をとらえ、それぞれの場面で汎用させていくことが肝要と考える。

○その他

- ・ リフレクションシートについても、講座内容に合わせて講師が作成すべきであった。
- ・ グループワークでのやりとり、あるいは、参加者の発言の記録があるとよかった。事前の打ち合わせが必要であった。
- ・ 教育局の方が文字起しをしてくださり大変助かった。
- ・ 記録用として、参加者の受講や活動の様子、ワークで使用した付箋紙や模造紙を画像に残すことが必要だった。事前の確認が大切であった。

研修プログラム③ 釧路管内公立小中学校初任者研修

- 【日 時】 平成25年10月 1日(火) 9:00～11:00
 【会 場】 釧路教育研究センター
 【講 師】 北広島市立大曲小学校 校長 横藤 雅人
 【参加者】 公立小中学校初任者17名(小11名・中6名)
 【所要時間】 120分

本プログラムの特徴

- ・アイスブレイキングの導入
- ・ワールドカフェ(1回)
- ・自校の「かくれたカリキュラム」を帰校後に探し、レポートする宿題

1. アイスブレイキング

講師 後ろに集合。じゃんけんをします。同じ人と連続でじゃんけんをしない。最後の方は別として、できるだけいろいろな人とじゃんけんをします。5人にも勝った人から、私の側からくると円くなります。開始！
 (参加者にぎやかにじゃんけんし、徐々に並んでいく)

講師 私の側にいるのが、この中で一番じゃんけんの強い人です。優勝したのは、T小学校S先生、はい、拍手。(拍手)
 プービー賞はこれのお二人です。T中学校のT先生とK小学校のU先生、お二人にも拍手。(拍手)

講師 もう一つやってみましょう。「餃子じゃんけん」です。3人でじゃんけんをします。グーは「肉」です。じゃあ、チョキは? (「箸」の声) 箸ではないなあ。(「ニラ」の声) はい「ニラ」。それではパーは? (「皮」の声) 「皮」。それから3人でじゃんけんをするんですが、誰が勝ったかではなく、肉・ニラ・皮がそろったら、1個餃子ができるというじゃんけんです。2分間3人でじゃんけんをします。グー・チョキ・パーが揃ったら、「いただきます」とみんなで声を揃えてください。もし「グー・チョキ・チョキ」だったら、何が足りないですか? そう、皮がないので、「皮がない」と叫んでください。「パー・パー・グー」だったら、そう、ニラがないです



ね。もし「グー・グー・グー」だったら? 「ニラと皮がない」は言いにくいので、「肉しかない」と言ってください。言い分かりますか。ちよっと練習します。(練習をする) はい、やり方分りましたね。何回「いただきます」ができるかというゲームです。3人で円くなってください。よーい、スタート。

講師 はい終了。はい、さっきじゃんけんの強かった優秀なチーム、何個でしたか? 8個。(順に聞いていく。11個、6個、7個、10個だった) よい所までいきましたね。はい、拍手。身体がちょっと温まりましたかね。では、お戻りください。

講師 今のは、アイスブレイキングです。今日の話は難しいんですが、みんなでシェアしながらやっていくことが大事ですので、まずふれ合ってみました。

2. 「かくれたカリキュラム」とは

スライド1

少し前まで学生だった皆さん

ある大学の先生の問題提起
 「この教室の出入り口は前方にある。つまり、教壇の左右が出入り口である。遅刻してきた学生は、ずっと後ろまで歩いて、教壇から最も離れた、後の列に座ろうとする。これはいけない。」



さて、この先生はどのようにするでしょうか?

※画像はイメージです

講師 さて、みなさんは私よりも学生時代のことを身近に感じられると思います。懐かしい大学の講義の部屋。ある大学の先生が問題提起をしました(読む)。さて、この先生は一体どのようにするか。隣と1.5秒相談。よーい、ドン。はい、終了。さあ、この先生はどうするか?

スライド2

私は、次の趣旨を言う。
 「授業はすでに始まっている時点なのだ。それなのに教室内をばらばら後方の席ですと歩いて行く者があると、私にも学生にも目ざわり、耳ざわりだ。教授(教えること)と学習とを妨害しているのだ。だから、遅れてきたら、すぐ入り口に近い前列に腰をおろせ。――これに異論が有る人はいるか?」

もちろん、異論の手は上げられない。

講師 (読む) 当たりまりましたか? と、このように言われたら、異論がある人はいないで

すよね。

スライド3

しかし、それでも、第二週、第三週くらいまでは、遅れて入室して後方の席までずと歩いてる者がいる。

さて、この先生はどのようなのでしょうか？

講師 (読む) さあ、この先生はどうするのでしょうか？お隣さんと5秒相談。よ〜いドン。

はい終了。どうすると思いませんか？(指名する)

初任者 前しか開いていない状況を作る。

初任者 同じです。

初任者 繰り返す言う。

講師 なるほど。(続きを映す)

スライド4

私はすぐ「この遅れてきた者は、すぐそこに坐れ。」と言う。たいていは、この指示に従って、そこに座る。

しかし、聞こえたのか聞こえなかったのか、最後列まで歩いていて座る者がいる。

さて、この先生はどのようにするのでしょうか？

講師 (読む) さあ、この先生はどうするのでしょうか、お隣さんと5秒で相談。はい、終了。5秒でも意外と相談できるでしょうか？(笑) はい、どうですか？

初任者 鍵を開ける。

講師 なかなかハードですねえ。(笑)

スライド5

私はその学生のところへ行って言う、「遅れてきたらすぐ座るのだと先週言った。一番前の席に行って坐れ。」彼は一番前の空いている席までもどって座る。

問題①

- この先生のすることを、どう思いますか？
- 近くの人と話し合ってみましょう。

講師 (読む) さあ、ここで問題です。この先生のすることをどう思いますか。近くの人と話し合ってみましょう。小学生、中学生であれば遅れてきて後座に席に座るということとはあり得ませんが、似たような場面や経験を下敷きに、この先生のやっていることを、よいねこれとか、またはここまででする必要はないなど、お隣さんと45秒間で。相談始め。(相談) はい、やめです。二人で相談したからと言って、意見を揃えることはしなくてよいです。個人の考えで5段階にしてみましょう。この先生のやっていること素晴らしいと思う人は5、そういうのもあると思うという人は4、まあよいとも悪いとも言えないという人は3、これちよっとやり過ぎないんじゃないのという人は2、これはなんぼ何でもダメでしょうという人は1。はい5の人。(2名挙手) おっ、いた。お二人は小学校の先生ですか。WT先生理由は？

初任者 言っていることは間違っていない。

講師 なるほど。はいっ、どうぞ。(もう一人を指名)

初任者 筋が通っている。

講師 はい。なるほど。次は4。基本は支持の立場ですね。はい、3。この後があるか楽しみです。はい2、まずいんじゃないという人、SS先生ですね。1の人、いますか？(いない) はい、この文章には続きがあります。

スライド6

先週、道理のある正しいこととして教師が指示し学生は異論を言わなかったのである。だから、教師のこの言葉は重い。守らなければならぬ。教師のこの言葉を無視する行動が通用するという事態をそのまま放置しておいてはならない。「教師は本気ではないのだ。」と教えていることになる。教師の言葉がいかに軽いかを教えていることになる。これでは、教師は信頼されなくなる。

(これも「かくれたカリキュラム」である。)

講師 (読む)

スライド7


- この大学の先生とは
- 宇佐美寛先生
- 千葉大学名誉教授
- これが書かれているのは『大学の授業』



講師 さて、この先生というのは、宇佐美先生という千葉大学の名誉教授の方です。この文章の続きに、「これもかくれたカリキュラムである。」とあります。これが今日のテーマです。前に座るんだぞって言ったことを初志貫徹しなければ教師の言葉は、守らなくともよいということを教えていることになるということを宇佐美先生は提唱されている。

スライド8

宇佐美先生は「かくれたカリキュラム」のことを、「教師が意図も意識もせずに教え続けている教育内容」と述べています。



※宇佐美寛著 『国語科授業批判』(明石国書出版)

講師 宇佐美先生は、『国語科授業批判』という本で、教師が意図も意識もせずに教えていることが「かくれたカリキュラム」であると述べています。大学の授業の中で、このような問題意識をもって一貫して授業をすることが大切だとおっしゃっている。

3. 日常の学級経営や授業にある「かくれたカリキュラム」

スライド9

- 今、「新任者の学級の7、8割は荒れる」と言われます。
- 「かくれたカリキュラム」はその大きな原因の一つです。

講師 今、新任者の学級の7、8割は荒れると言います。本校には毎年2人、新任者が入ってきます。去年の新任者2人も、見ているとかくれたカリキュラムに気が付かないで、学級が荒れたということがありました。途中何回も呼んで色々話をしました。言うところ、「あつ、そうか」と気が付き、「かくれたカリキュラム」が大きな原因の一つだと分かれます。

スライド10

問題②
ある日のある子のテストは、あまり良くない結果でした。どうやって返しますか？



講師 別の例で考えてみます。プタの漫画です。ある日のある子のテスト。あまり結果がよくない子のテストを返すとき、シッタカプッタが15点取りました。どのように返すのがよいのか、4択で考えて教えてください。

スライド11

4択にしました

- ① 気にしないでいいよ。早く忘れよう。
- ② もっと努力が必要だぞ。がんばれ。
- ③ ……。(無言で返す)
- ④ 間違えたところ、一緒に考えよう。

・その他

あなたは、普段どうしていますか？

講師 どれなのか、心の中で決めてください。


スライド12

この先生は…

- ① 気にしないでいいよ。早く忘れよう。
- ② もっと努力が必要だぞ。がんばれ。
- ③ ……。(無言で返す)
- ④ 間違えたところ、一緒に考えよう。

・その他

この子は どう受け取ったでしょうか？



講師 このシツカブッタの先生は、「もっと努力が必要だぞ、がんばれ。」と言って返した。さあ、こシツカブッタはどのように受け止めたでしょうか？

スライド13



スライド14



スライド15



スライド16



講師 こういう、4コマ漫画です。これも「かくれたカリキュラム」なんですね。

スライド16



講師 つまり、教師は、努力が足りないぞって言ってたら発憤するかなあと思ってたわけですね。ところが、子供の受け取りは才能がないと言ってくれた方がまじだと受け取ったんです。つまり、教師の思いやそれを受けた行為や思いは、子供には通じなかつたんですね。むしろ違うメッセージを与えてしまった。それで、これも「かくれたカリキュラム」です。「かくれたカリキュラム」の例を二つ出しましたので、後は演習しながら深めていきましょう。

スライド17

問題③

- 教師が「ワークシートに自分の考えを書いてください。時間は3分です。」と指示した。
- 机間巡視をすると、よくわかっていない子がいたので、数名の側にしゃがみ込んで、指導した。
- すると、「はい。やめ。」は、5分50秒後になつてしまった。
- この行為は、子供に何を教えたでしょう？

講師 教師がワークシートに自分の考えを書いてください、時間は3分ですよと言う。机間巡視をする。よく分かっていない子がいたので、数名の子供の前でしゃがみ込んで、指導した。こんなふうには指導したら、NG先生、どうなると思いますか？

初任者 3分では、足りなくなる。

講師 足りなくなりますがよね。数名の前でしゃがみ込んだら足りなくなる。すると、「はい。やめ」は5分50秒後になつてしまった。この先生の行為は、子供にいったい何を教えたでしょう。はい、お隣さんと30秒相談、どうぞ。はい、やめ。OB先生、どうぞ。

初任者 先生が指示した時間というのは、守らなくてよいんだということを教えた。

講師 はい、同じ方。(教名拳手)ただ単に、時間は守らなくてよいんだで済みますか？はい、どうぞ。言いたげな顔をしているUH先生。

初任者 3分間一人でがんばるんではなくて、先生が助けてくれるよということも教えてくれている。

講師 あつ、なるほど。私は、例えば研究授業で「あと何分」と聞くと、必ず「本当に

そうか」と許す習慣がある。すると、本当に守られないですよ。これを守らないと、教師は適当に時間を言っているんだなと、先生は結構適当に授業を進めているのかということを、子供は学ぶ、それすごく怖いことだなあと思います。じゃあ、もし、これを改善するとしたら、どうしたらよいですか？ 3分だと思っただけで、机間巡視したらあももう時間がないとなったらどうしたらよいかと思いますか？ 私はね、子供に「ごめん、3分と言ったけれど無理そうだから、とりあえず5分にしますよ。」とか、「3分間経ったけれど、もう何か伸ばすよ、先生ももう少し見たいから。」と言えよばよばと思わんですよ。[かくれたカリキュラム]は、隠れているから深刻なのであって、明示すればよい、顕在化すればよいですよ。

スライド18

問題④

- ある子の発言は白チョークで板書した。
- 次の子の発言は、色チョークで板書した。
- その次の子の発言は「なるほど。はい次。」と、板書されることなく扱われた。
- これらの行為は、子供に何を教えたでしょう？

講師 それでは、次に行きます。「大造じいさんとガン」の授業でした。子供の発言を白チョークで書きます。次の子を指名したら、その子がすごくよい発言をしたので、赤チョークで書きました。そして次の子が発言したんですが、まあ板書したのと似てるなあと。そこで、「なるほど」と言って、そのまま板書しないで終わった。これらの行為はいつたい子供たちに何を教えたのか、はい30秒で相談、よ〜いドン。

初任者 子供の受け止めですが、板書されることなく終わった子供が、何で俺のは板書されないで終わってしまうんだろうって。

講師 うん。先生はここが授業のねらいと思ってるのかもしれないけれど、子供の方は、そうは受け止めないのではないかと。(頷き多数) そうですよ。私はよく思うんですけど、授業者や参観者のための授業になってしまっているんですよ。それぞれの子が大事に扱われるべきなのに、こうやって差別することで、先生は気に入ったことしか取り上げてくれないということを教えます。これは、授業としてはまずいです。

スライド19



問題⑤

教卓やその周りの環境は、子供に何を教えているでしょう？

講師 次は見ただけで、すぐ相談タイムに入ります。そばに来て見て見る時間も含めて、45秒。はい画面が小さいので見えにくいですが、見えた範囲でG.T先生、お願いします。

初任者 先生の机がすごく汚いです。周りも汚いです。(頷き多数)

講師 ねえ。あの先生の机の乱雑さ、後ろの棚、横に掛けているもの、あれなんですよ。自分の身の回りのもの、だからこういう環境も「かくれたカリキュラム」なんだからってことなんです。

スライド20

問題⑥

〜ちよつと高度な問題です

- 日本では、大きくなると絵を描かなくなるの子が多いそうです。
- どんな「かくれたカリキュラム」があるからだと思いますか？

講師 さあ、ここからちよつと高度な問題に入ります。漠然としていて、えっ、と思われながらも、あれも、考えてみてください。日本では、大きくなると絵を描かなくなる子が多くなるそうです。実は、これにも「かくれたカリキュラム」があるんですよ。それは一体、何だと思えますか。お隣さんと、30秒くらいこうなんじゃないって話し合ってみてください。はい、どうぞ。

講師 はい、そこまでにしましょう。もう一回りましたので、それではお二人の意見を聞いてみます。

初任者 大人になっても絵を描く人が身近にいない。

講師 なるほど。これは私は勉強になりました。確かに、モデルがないですよ。上手でなくとも楽しく描いている大人が周りにたくさんいる風土ではないですよ。

初任者 大人が絵を描くことは恥ずかしいと感じる。

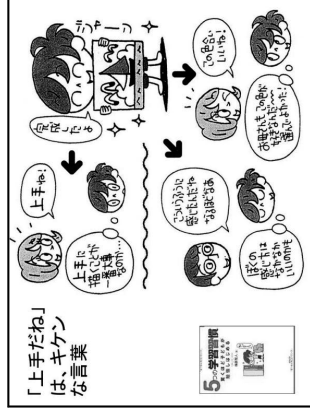
講師 大人になつたら恥ずかしいと感じるのはなぜ？

初任者 うーん。・・・

講師 はい、違う意見はありますか？今、お二人が言ったのは、私の考えよりも深いかも

しれません。

スライド21



講師 子供が絵を描いて、親に見せますよね。その時に、多くの親や教師が、「上手だね」と返すんですよ。「上手」って返すと、子供はどう考えるかというと、絵というのは、上手に描かなくてはならないと受け取るんですよ。これもかくれたカリキュラムだと思います。だから私は、「上手」は危険な言葉だと言います。体育なんかは上手にやると、例えば、縄跳びを跳べるだとか、ボールを速くまで投げられるだとか、上手にやると結果は出るのです。そう危険じゃないんですけど、絵や作文を上手に言うのは危険だと思います。じゃあ、どう返せばよいですかね。…例えば、「この色合い良いね」って言うとお母さんはこの色好きだったんだなあ、父さんが、「こう感じたのかあ、だからここを大きく描いたのかあ」とか、「ここを真ん中に描いたのは、これが気に入ったからだね」って、こういう関わり方をすると、多分絵を一生楽しんで描く子供が増えるんじゃないかと思っています。

スライド22

「かくれたカリキュラム」の怖さ

- ・「良い」「当たり前」「問題ない」と思っているため、その行益を続けてしまう
- ・自分に問題があると思えないため、知らずに子供を責めてしまったり保護者のせいにしてしまう
- ・他学級でも同じだと、間違った考え方や方法が定着し、学校全体の教育の質が低下する

講師 さあ、「かくれたカリキュラム」をざっと見てきました。怖さは私は私はいこういうことにあると思うんです。まず、当たり前だ、問題ないって思っているために、その行為を知らず知らずのうちに続けてしまう、しかも、自分たちに問題があると先生方が思えないので、子供を責めてしまったり、知らず知らずのうちに保護者のせいにしてしまうケースがあるということです。他の学級でも同じことをやっていると、間違った「かくれたカリキュラム」が定着して、学校全体の教育の質が低下してしまうこともあります。これが非常に

怖いと思っています。さつき、初任者の教室の7、8割が荒れると言いました。先生方は子供のためにと一生懸命に叱咤激励している。こう言えば発憤してくれると思っているのに、それを言うがために、子供がどんどん自尊心を失ってしまっているという図にある。それで反発して来るものだから、言うこと聞かないんだよねって子供を責めてしまったり、保護者のせいにしてしまったりする。これってすごく怖いことだと私は思います。一方ポジティブなものもあります。こういう事例です。

スライド23

ポジティブな「かくれたカリキュラム」も

- ・ある学校では、学年が進むにつれて歌声が良くなっていく。子供たちが、「6年生の歌声はすばらしい。すばらしいのが当たり前」と思う、そんな伝統があるからだ。
- ・ある学級では、教室のゴミを拾うなど、言われなくても気が利かして動く子供が増えていく。それを褒めると「当たり前でしょう?」と不思議そうな顔をする。
- ・ある学級では、子供たち同士が「はきはきと挨拶を交わす。また、ちよとしたことではじけるように笑う子が多い。


講師 さつき絵を描く大人がたくさんいっぱって話がありました。そういうモデルがあるってことも、ポジティブな「かくれたカリキュラム」です。これもそうなんです。こういうのがモデルになって、機能すれば学校は元気になるということです。ですから、ネガティブなものを減らして、ポジティブなものを増やしていくというのが、一つの方向性ではないでしょうか。

4. 「かくれたカリキュラム」を探す

スライド24

演習

「かくれたカリキュラム」を、皆さんの実践や職場から探してみよう



- ・教師の所作、服装、表情
- ・言葉遣い、口癖、声のトーン
- ・立ち位置、目線、机間巡視のコース
- ・教室環境、掲示物
- ・採択教材、ノート、学習用具の指示や許可
- ・給食や掃除などのシステム
- ・子供の反応や作業への対応や評価
- ・男女、個別への接し方



講師 さて、ここからは演習です。4人になってください。皆さんの職場、自分の教室の中で、これやっからうまうまいった、あるいはこれやっからうまうまいかないのかもしれないの、探してみたいと思います。男女の扱いはよく「かくれたカリキュラム」で言います。例えば、日本中のトイレを調べた人がいて、男性のマークは必ずと言っていいほど青、女性は赤、「かくれたカリキュラム」と言ってよい。

講師 こんな例を自分の職場の中から探します。3分はい、どうぞ。(グループワーク)
講師 はい、3分になりましたが、もう少し時間がほしいグループありますか？はい、それでは1分程度伸ばしましょう。はい、1分経った、まだだね、はいもう1分。はい、あつという間に1分経ってしまいました。どうですか？ いくつか事例挙ってききましたか。もうちよいだね。もう1分。はい、それでは各グループの中で、これを紹介しているもの、全体でシェアしたいものを1つ、誰か代表で発表する人を一人決めていただきますか？(相談) はいそれでは前に来てください。そっちのグループから1つ発表してください。次のグループは前に来ていてください。

1グループ 教師はスーツで出勤するべき。生徒の服装の乱れに関係する。

講師 はい、よい所を見付けました。拍手。はい、次のグループ。

2グループ 隣の席の子供に対し「ブサイク」という特別支援学級の子供がいた。その原因は、その特別支援学級の子供に担当の先生がブサイクと言ったことが原因である。

講師 あつ、深刻な事例ですね。口癖はうつるんですね。はい、次のグループ。

3グループ 板書の字を教師がていねいに書くこと。

講師 よい気付きですね。はい、次のグループ。

4グループ 教師の声のトーンや出し方が生徒に影響出る。

講師 はい、よいですね。最後お願いします。

5グループ 教師がゴミを拾うとか、率先して見本を見せること。

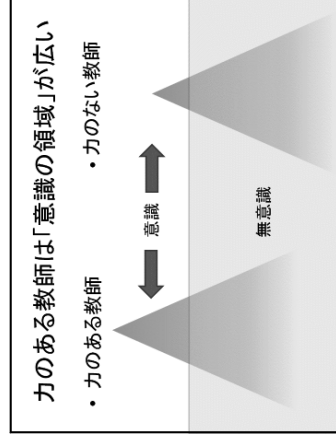
講師 はい、素晴らしいですね。みなさん、「かくれたカリキュラム」は概念的にすごく難しいですが、よくなるに促してくれました。きつと、私の説明がよかつたんでしよう(笑)。ということで、前半終わります。10時ジャストまで休憩をとります。はい、前半お疲れ様でした。(休憩)

5. 「かくれたカリキュラム」を改善するには？

講師 それでは、後半を始めます。こういうのも10時になったらやりますと言ったのに、例えば1分過ぎて、2分過ぎてというふうに適当にやっていると、あの講師は時間を守らないんだと教えることになるんだと思いますね。

「かくれたカリキュラム」を改善(強化)するには？
 実践に意識の光を当て、
 「意識の領域」を広げること

講師 後半。今度は改善、ポジティブな「かくれたカリキュラム」の場合には、それをより強化するということを考えてみたいと思います。後半は難しいです。なんで難しいかという意識の構造が絡んでくるから。結論を言っちゃやうと改善・強化するには、意識の領域を広げないと見えてこないんです。



講師 力がある教師というのは、私は、長く見てきて、意識の領域が広いな一と思いましたが。そんなところまで見えているのか、考えているのか、と。フロイトという心理学者がですね、人間の意識は氷山のようなものだと例えたんですね。海に氷が浮いているようにだと。それで、上のところが顕在意識、いわゆる意識と言われている領域です。自分でこうだよなって自覚している意識、でも、氷山のほとんどが海の底に沈んでいるように、大部分は無意識なんです。しかも、無意識はここで終わっているのではない、フロイトの弟子のユングは、この下が全人類つなっていると言っているんです。

講師 例えば、教室に入ること一つでも、力のある先生は、子供が見ているぞと思って入っていきま。力のない先生は、その日の朝、奥さんとけんかしたら、あーって言いながら入っていったりして、やっぱ意識している広さが全然違うんですね。それで、「かくれたカリキュラム」を見付けて、改善していくことに生かせるのではないだろうかという仮説です。

「意識の領域」を拡げる方法

1. 時間を停めて場面を「切り取る」
2. 他と比べて「視る」
3. 新たなやり方を「実践する」

講師 意識の領域を広げる方法として、私は、次の3つがいいと思っています。1つ目が、「場面を切り取る」ということです。時間は流れていきます。「ここ」っていう場面を切り取らないと、意識の光を当てることができません。だから、切り取るっていうことが非常に大事なことです。2つ目は、その切り取ったのを「他と比べて視る」ということです。視るは、見学の見ではなくて、視力の視。力をいれて、しっかりと意識して視るという字を当てているんです。3つ目。見えてきたものは「新たなやり方を実践」してみないと、本当には理解できません。この3つ、3段階を私は提唱しています。

1. 切り取る

- 所作、服装、表情
- 言葉遣い、口癖、声のトーン
- 立ち位置、目線、机間巡視のコース
- 教室環境、掲示物
- 採択教材、ノート、学習用具の指示や許可
- 給食や掃除などのシステム
- 発問や指示、それに対する子供の反応や作業への対応や評価
- 男女、個別への接し方の違い

まだまだたくさんありますね...



講師 切り取るにはいくつかの方法があります。まず、授業や教室環境を写真に撮ってみるということですね。私はですね、自分の学校を毎日回って歩いてる時に、タブレットを持って歩きます。これで、先生たちをパシャパシャ写真に撮って、ある時はビデオに撮って、放課後に「先生、今日こうだったけどさ」っていうように話しかけるようになります。切り取ってみるといのは、非常に説得力があります。その瞬間の時間、場面を見れますから、お勧めです。みなさんも是非、誰か回ってくださることがあったら、お願いすると良いですよ。

- 授業や教室環境を写真に撮って見る (ビデオよりも写真がよい)
- 自分の言葉を録音する
- 授業を公開し、他から意見をもらう
- 実践を他の人に語り、交流する
- 自分の実践について書く(学級便りなど)
- 子供に聞く(対話、アンケート)

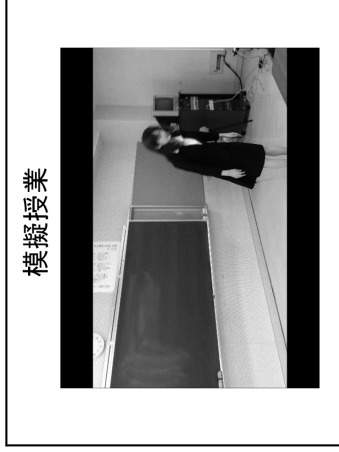


• 模擬授業

講師 自分一人でやるんだったら、ビデオを撮って、それで気になったところで、ストップアクションかけるんです。これもお勧めです。2つ目が、自分の言葉を録音することです。ボイスレコーダー。今、スマホなんかでもとれますから、そういうので、自分の言葉を。ビデオだと情報量が多くなって気付きにくいんです。昔だけっていうのはすごくいいですね。昨日、指導主事の先生たちと話したんですけど、私が初任の頃は、テープレコーダーだったんですね。今は見たことないでしょ？90分テープっていうのがあったんです。片面45分ですから、授業がスタートするときにパチッと押すんですよ。で、私は車で通勤していたんで、それをその日の帰ってから、車の中で聞くんなんです。私の通勤時間は、片道25分くらいでした。だから、その日テープでとったら、テープをかけながら、うちに帰るんですね。そうすると、「えー、なんだこれや。自分で何を言っているかわからん、これを子供は黙って聞いているのか。」と思うんですね。途中で、車を止めて「俺のバカバカ。」とやりたくなるとすごくいいのは、子供に優しくなれ聞きながら、学校に行くんですよ。これをするとすごくいいのは、子供に優しくなれます。授業中に聞いてなくても、きつと俺の言い方が悪いからそうなんだろうなーと、思えるんです。で、そのテープを月曜日にとって、火、水、木、金、当時は土曜日もあったので、土曜まで聞くんですよ。そうすると同じテープを3回くらい聞くとですね、違う情報が耳に入ってくるんです。子供の眩きだったり、最初は、自分の言葉のわからなさに、落ち込んだりするんですけども、水曜日くらいになると、「あれ、子供がこんないいこと言っているのに、全然気が付かないで通過しているぞ。」ということが聞こえてきます。あとは、自分の口癖ね、「えー」とか「あー」とかいうのですね。本当に、やってみると結構いいですよ。お勧めです。皆さん、もう今年、研究授業されましたか。研究授業をされた方？(半数以上挙手)是非、自分から手上げてでも、人に見てもらって授業やってみてください。指導案なんて、1枚殴り書き、手書きでもよいので、是非、やってみるといいと思います。自分の実践を話しているのもすごくいいです。人の頭を借りるっていうのもすごくいいんです。学級よりなんかに自分の実践について書くっていうのも、大事です。私は、大体毎年学級便りを100枚位書きましたけれど、多分7割位は、授業記録です。その授業記録もT～、C～、っていう風に、テープ起したって、親は読みませんから、その時に思ったこと、例えば、「この時はこういうふうにご子供たちに質問してみた。そうしたら、子供は3人しか手が挙がらない。一体どこが悪いかって思ったので、ちょっとタイムって言ったら、子供が騒ぎ出した。」

こんなふうには書きました。これが、親には、横藤っていう教師が、何を考え、何を考えて授業しているのかが伝わって、とても良かったと言われました。是非お勧めです。それから、子供に聞くっていうのもとてもいいです。言うこと聞かない子、いますよね、注意しますよね、放課後とかね。「ところどころでさー、うちに帰ってできないのか？」って聞いてみると、意外と子供や家庭の情報とか、あるいは、「だって、先生言ったことわかんないかっただんどもん」っていう、自分の至らなさに気付かされることもあるんですよね。アンケートもいいですね。好きな教科を子供に聞いてみるだけで、自分の授業の評価になります。あと、これ（模擬授業）されている方いますか？ やると、本当に自分の「かくれたカリキュラム」に気づくことができます。

スライド30



模擬授業

講師 先日、本校の初任者研修で初任者に10分間の模擬授業をさせて、気付いたことを途中で周りが指摘するという模擬授業をしました。「かくれたカリキュラム」の宝庫ですから。ちよつと見て下さい。10分間くらい授業やっただけけれど、出だしの2分位までところどころです。（ビデオ視聴）

講師 私は、タブレットで撮りながら、思わず「ほろろ〜」って、マイクの近くで言うちゃいましたけれど、そういうこと一つ一つ、初任のうちは気が付かないですね。こーやって模擬授業をやることで、自分が知らず知らずにやっている「かくれたカリキュラム」にたくさん気付きます。ですから、模擬授業はお勧めです。

スライド31

2. 比べて見る

- 切り取った部分を、他の教師・教室、以前の自分と比べる
- そのためには、身近に手本となる教師・教室、ライバルとなる教師・教室、自己の記録があると良い
- 先輩や仲間と切り取った部分（学級通信など）を見せ、教えを講う

講師 はい、二つ目。「比べて見る」ですね。みなさんライバルをお持ちですか。学校だ

から、ライバルっていうのはあまりないかもしれないんですけども、是非、ライバルを見つけて、切磋琢磨してほしいと思いますね。学級通信なんかも、ただ机の上なんか配らないで、「書いてみたんですけど、意見をお願いします」と言って先輩の先生にあげたりするのもいいことだと思いますね。私の知り合いで、野中信行先生って横浜の先生がいるんですけども、野中先生が一人研究授業っていうのを紹介しています。

スライド32

参考～野中信行氏の方法

- ①自分の「日常授業」を録音する。
※ビデオに撮るよりも、録音する方がいい。
- ②かほんして聞く。
※最後まで聞くというのは、最初は大変なことであるが、やり抜く。子供は、その授業を毎日受けているのである。
- ③感想をメモする。
※ポイントを挙げていたら、その視点からまとめる。
※口癖、無駄な言葉などをメモする。
- ④1か月に一度は行う。

（野中先生のブログ「風に吹かれて」2013.7.20より）

講師 野中先生も録音する方がいいと。そして、この2番目が野中先生らしいんだよね。「我慢して聞く」っていうのがね。野中先生もかなり我慢して聞かれたんだと思います。聞くに堪えない授業なんだけど、それを子供が毎日5時間、6時間聞いているわけですよ。そして、感想をメモする。これを一人研究授業と名付けていらつています。1か月に1回すると、年間で10回以上できますよね。これは力がつきますよね。「かくれたカリキュラム」の発見と、改善にもすごく役に立ちます。

6. 4類を想定する

スライド33

比べるために

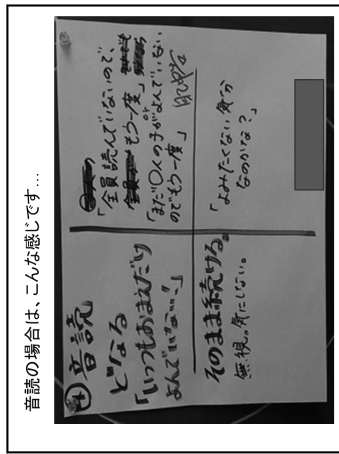
- 2軸で考える(4類想定できる)
- 「縦」＝規律・ルール・しつけなど統率系
- 「横」＝教師と子供、子供同士の通い合い系
- 自分のやり方や目指すべき方向が見えてくる



講師 次に、比べるために、私が提唱していることを言います。2軸で考える。つまり、縦軸と横軸で考えたいのではないかということ。2軸で十字を描くと、4つの部分ができます。縦軸は規律やルールや躰などの、統率性。横軸が、教師と子供同士の会話などの通い合いです。さっき、初任者研のビデオを見せました。生徒役をやっ

いるのが、私の学校と近隣の学校の初任者たちなんですよ。10人くらいでこうして研修をしているんですけども、そのメンバーで別の日にやった「2軸で考える」を見てく
ださい。

スライド34



講師 これは、音読のさせ方です。音読をちゃんとやっていない子がいたときの対処です。縦軸が統率系、横軸が通い合い系で考えてみたんですね。そうしたら、怒鳴って、「いつも読んでない、ちゃんとやれ」っていうのは、これは統率系が強いと考えられる。ちゃんとやらせようとしている。でも、子供の気持ちとか、心と心が通い合い系が弱いということで、左上ですね。読んでいない子がいても、そのまま無視して、気にしないっていうのは、統率もしていないし、その子と通い合うものも何もないので、左下の方に位置付くんじゃないかと。それから、右の上のところは、「全員読んでないで、もう一度読みましょう」とか、「まだ、何人の子が読んでいないよ。もう一度読みましょう」っていうのが、統率もしてるし、全員にちゃんとさせようねっていうことで、通い合い系もちゃんとやる方法なので、右上じゃないかと、というように出ました。「自己申告」と赤い字で書いたのは、この図を見ながら話しているのがあって、「いや、もったいねい。右下のところに書いたのは、よくありがちな「今日は読みたくない気分なのか？」って、聞いちゃうパターンですよ。これは、統率していくところが弱い。「うん、今日は読みたくない」って言われたらどうするのでしょうか。ただ、子供は、先生が自分のこと考えてくれるっていうのはわかるのでしょっていうことですね。

スライド35



講師 先ほど、前半で見せました悪かったテストの返し方問題を、4類に位置付けてみますとね、「気にしないでいいよ、早く忘れよう」っていうのは、どこに当たりますか？ね。統率は？強くないですね。しつかり上に向かって伸びていくっていうそのベクトルが弱いですね。ということは、この線よりも下になります。じゃあ、「がんばれ」って言ったのはどっちですか？ここ、ですよね。無言で返すのは？これ。そして、「間違ったところ、一緒に考えようって」いうのが、統率もする、ちゃんと伸びていくよね、でも、あなたの気持ちもちゃんと受け止めるよっていうのですね。

スライド37

ワーク・4類想定

- 私が切り取った場面、普段どうしているかを付箋に書きましょう。「本当はこうしたいんだけど...」とか「前にこれをして大変なことに...」なども書きましょう。
- グループ内で、紹介し合ひましょう。十字(2軸)を描き、4類の対応、方法を考えてみましょう。
- それを子供はどう受け取り、どんな子に育っていくかも考えてみましょう。

講師 では、この4類想定ワークをやってみてみたいと思います。これから、私がよくありがちだと思う場面を提示しますので、自分は、普段そういう時、一体どうしてるかを付箋に書いてもらいます。さっきの4人で、普段はこうしてるんだけど、本当はしようと思ってるんだというのがあったら、2枚目に書きます。1枚に1つです。それから、「前にこうして、大変なことになってしまった」っていう失敗事例があったら、それもぜひ書いてください。いいですか？グループ内で紹介し合った後に、十字を書いて、4つに分類してみると、自分の普段していることの位置付けが、他の人と対比してわかりやすくなるんです。問題場面、これです。

演習

- 自分のあるいは先輩の実践の中で、「こんな場面、どうすれば良いのだろう...」と迷ってしまうことを、問題場面としてみましょう。(前半で見つけた場面でも良いですよ)

講師 はい、途中のところもありますが、そこまで。位置付けると、気持ちやすくなるでしょう？ さっき言った、切り取ることと、比べてみることに、一つの方法です。では、もう一つ。さっき各グループで、出した気付きがありましたよね。1グループは、「教師はスーツで通勤すべきだ」、2グループは、「ある子がブサイクと連呼した」、3グループは板書の字、4グループは声のトーン、5グループは教師側が敬語を使うというものでした。その他の教室の環境だとか、掃除や、給食の場面でどうすればいいんだろうって迷ってしまうようなこととか、いくつか選択肢あるよなっていうことの中から、また新たな紙にまた付箋を貼ってやってほしいなと思います。今度は場面が違いますから、まず紙の上の方に、何々の場面と、みんなを書いてみる。で、もう慣れたと思うので、今度は付箋を使わないで、直に画用紙に4つ書いてみましょうか。はいどうぞ。


(4人グループで活動)

講師 はい、途中でもよろしいですよ。お疲れ様でした。そのまま椅子だけ前に向けてください。今、いくつかのところで、4つ考えるのは難しいなあっていう声が出ただけけれども、これは、先ほども言いましたように、全部埋めることが大事なんじゃなくて、考えてみることによって、意識の幅を広げっていうトレーニングなんですよ。だから、入っていないところは、それはそれでいいと思います。どうしても思い浮かばないものもあります。さて、それでは今の気付きをワールドカフェでシェアしましょう。

7. ワールドカフェでシェアリング

ワールド・カフェで深めましょう

- (1)グループで、「ホスト」(1人)と「旅人」(残り)を決めましょう。
- (2)演習問題を題材とします。
- (3)自分の考えや実践例、悩みを出し合い、キーワードを中心に画用紙にポイントをメモしていきましょう。



問題⑦

- 国語を始めようと、子供たちの机の上を見ると、教科書を出していない子が数名。さて、何としましょう....

講師 普段の実践でどうしているか。また、「本当はこうやったらいいと思う」「前、こーやってすごく失敗した」いろいろ考えて、1枚に一つずつ書いてみてください。いいですか？ はいどうぞ。(4人グループで活動)

講師 はい、そろそろ一人1枚は書けましたね。ではホワイトボードを見てくださーい。4類想定ですから、まず2軸描くんです。で、いくつかが考えがありますよね。まず1つを、みんなで見ながら、「これは一応ここに置かか。」と置くんです。で、「これはこれに比べたらここだね」って、他の人も置いていくんですけど、「これ、こっちに置いたんだけど、もつといい方法あるから、こっちだね」と移動もできます。



これをワイワイ言いながらやっていくと、自分の普段していることとか、これがいいと思ってることとか、実はそうでないということとか、もつといい選択肢があるということが見えやすくなります。ですから、ここはおしやべりがとても大事です。貼りながら「これって、こうだね」「こういう良さもない？」っていうふうなやりとりを楽しみながらやってください。わかりました？ はい、ではどうぞ。

(ワーク)

講師 グループでホスト1人を決めます。ホストはずっと残ります。ホストはPRしてください。「これ、いいでしょう」って。あと3人は旅人になって、回って歩いて、別のところにいるいろホストと話をしてくる。で、旅人が戻って、「他のところに行ったら、こんなことに気が付いたわ。」ってことをシェアします。(交流)

講師 はい、それでは途中でですが、戻ってください。机も元に戻してください。お疲れ様でした。頭いっぱい使ったでしょう？今、やってもらったのがワールドカフェです。いろんな研修の機会に使うといいと思います。では、おまけの問題行きます。

8. おまけ① 高度な問題

スライド41

おまけ:かなり高度な問題です



「そんな時、お父さんはさまでゆみ子をめちやくちやに高い高いするのでした。」(一つの花)この箇所について、「この時のお父さんの気持ちは、どんなだろうか。」という発問がある。

宇佐美先生は、この発問も「かくれたカリキュラム」だとおっしゃいます。



講師 おまけ問題です。先の宇佐美先生です。先生は、4年生の「一つの花」という教材について、『国語科授業批判』でこのように書かれています。(読む)これ、かなり高度な問題で、私もベテランと言われる年代層も、指導主事の先生たちも「これはよくあるよな」「でも、どこがまずいのかな」と思ってしまうと思います。ですが、宇佐美先生は、ここにも、「かくれたカリキュラム」があるとおっしゃるんです。わかりますか？ たぶん初任の先生はわからないだろうと思います。「へー。そんなことまで考えるのか。」とびっくりされると思います。ですから、おまけなんです。

スライド42

「何とも言いようがない気持ちだ。」としか言いようがない。言葉で限定することなど出来ない複雑な気持ちなのである。
だからこそ、何も言えず「めちやくちやに高い高い」したのである。「お父さん」の気持ちに共感していいほど、胸がせまって口に出す気にはなれないのである。(略)

スライド43

子どもは、つじつまの合わない要求をされているわけである。子どもは、文章を読んで何をなせ、考えなきゃいけないのか。それが、子どもにはのみこめないままなのである。(略)
国語の授業を通じて、子どもは「国語の時間での想像は教師の期待に合わせて行なうのだ。しかも、想像したという証拠を教師の気にあるような言葉で示さねばならないのだ。」ということを教わり続けているわけである。

スライド44

これは、教師が意図も意識もせずに教え続けている教育内容であり、いわゆる「かくれたカリキュラム」(hidden curriculum)である。

講師 (読む) 私は、これを読んで、「かくれたカリキュラム」って、ほんとに深くいろんなところに入ってるなあっていうふうに思いました。私が宇佐美先生の本に出合ったのは、30歳くらいの頃ですね。それから、自分なりに気を付けて実践するようになりました。それを今日、みなさんに聞いていただいたということですよ。

スライド45

再掲「意識の領域」を拡げる方法

1. 時間を停めて場面を「切り取る」
2. 他と比べて「見る」
3. 新たなやり方を「実践する」



真の知は、実践の中からしか得られない

講師 「切り取る」「見ること」そして「実践すること」。この「実践すること」の中からしか真実を得ることはできません。例えば、さっき4類分類やりましたけれど、今日のあの場面、あのとき子供たちに、自分のしたこと引かかるとしたら、自分のしたことを書き紙に書いてみましょう。例えば、子供が、掃除をちゃんとやっていたいなかった。

そこで、「ちゃんとやれー」って言ったとします。うーん、どうも引っかかるなあと、これってどうだったんだらうと思ったときに、「ちゃんとやれって、冷たかったかもな」と思いますよね。そうしたら、ノートどこかに「ちゃんとやれー」って書くんです。「ちゃんとやれー」って書いてから、そしたら、うん、冷たかった。「ちゃんとやれ」で、子供たちにうまく通ったかどうか。甘やかしてはいないけど、ちゃんと子供に通ってないよなあ。十字を描いてみるのも一つの方法です。自分がやっていることは、このへんかな？このへんかな？「ちゃんとやれ」の代わりに、どうすればいいんだ？あ、呼んで話をすれば良かったかなあ。そうしたら子供たちとも通い合えかなあとか。人に聞いてみるのもとってもいいと思います。「先生、私は『ちゃんとやれ』って怒鳴っちゃって。なんか子供と気まずくなっちゃったんです。先生だったらどうしますか。」っていうふうなのを聞いてみるのもすごくいいと思います。

9. おまけ②とまとめ

スライド46

おまけ②:一人の社会人として

子供たちに直接働きかけること以外にも...

- 服装
- 電話の対応
- 来客への接し方
- 地域行事への参加の仕方
- 教卓の机上
- 運転マナー



これらにも気をつけていきましょうね！

講師 先生たちにはこういうことも、どんどん身近なこととして身にかかってくると思いますが、気を付けてやっていってください。

スライド47

終わりです

- 皆さんの明日からの実践が、より良いものになることを期待しています！
- 宿題にも取り組んでみましょう。
- グループの方へ感謝を伝え、ワークを終えましょう。



講師 明日からの実践、みなさんのよりよい学びをお祈りしております。今日はこうやって皆さんの声を聞くことが出来て、私にとっても幸せな時間でした。グループの方に、感謝の気持ちを伝えて、ワークを終了していただければと思います。これで終わらせていただきます。ありがとうございます。

リフレッシュ・シート

小学校

(1) 「かくれたカリキュラム」の大事さが、腑に落ちましたか？

とても

少し

あまり

全然

【理由】

教師の言動が全て子どもに影響を与えているということか、お話を聞いた時、自分を振り返って気づくことで

実感できたからです。

(2) どんな「切り取り方」で、「意識」の世界を拡げていけそうですか？
子どもに自分の意図・指導が伝わって伝わってないと感じた場面を切り取ってほしいです。

(3) その他（感想など）

あらためて、教師として常に向上心を持って自分を振り返り、高めたいかなければいけないと感じました。
また、先輩の先生方のポジティブな隠れたカリキュラムを、下で残す残半年で、たくさん見付けて自分のものにしていきたいと思いました。

送信先	釧路教育局	所属名	小学校
FAX番号	(0154) 41-2038	職名・氏名	教諭

本シートは、参加者が研修を踏まえ、自校の「隠れたカリキュラム」の事例を見つけて、整理するためのものです。記入後、教育局に提出していただき、事例集を作成する予定です（氏名は掲載されません）。

<記入の手順>

- (1) 「隠れたカリキュラム」具体例の記入欄に、研修終了後に自校に戻り、主に自分が担当する学年の学習体験や自分の言動などから見つけた「隠れたカリキュラム」について1～3点記入する。
- (2) 項目1の「考えられる影響及びその改善策」の記入欄に、ネガティブな「隠れたカリキュラム」の児童生徒への影響及びその改善策を記入する。
- (3) 項目2の「考えられる影響」の記入欄に、ポジティブな「隠れたカリキュラム」の児童生徒への影響を記入する。

※このシートは研修終了後おおむね1週間を目途に提出してください。
※事例の収集については、学校計画研修等の時間を活用してください。

1 私が見つけたネガティブな「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」具体例

(記入欄)

- ① 授業終了時刻通りに授業を終えたり。
- ② 挙手した児童だけを指名して授業を進めていく。
- ③ 授業のまことを教師の言葉でする。

考えられる影響及び改善策

(記入欄)

- ① 子ども時間を守らなくなる。児童把握を行い授業改善を行う。
- ② 自分で考えようとする児童が減る。指名の工夫を工夫する。
- ③ 自分で考えようとする児童が減る。発問の工夫をする。また、子どもの言葉を使う。

2 私が見つけたポジティブな「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」具体例

(記入欄)

- ① 授業開始時刻前に準備を終わらせて待っている。
- ② 教師も困った時はお手伝いなど助けを求めらる。
- ③ 教室・校内環境を整え、掃除も子どもと一緒にやる。

考えられる影響

(記入欄)

- ① 子ども授業開始時刻前に準備を終わらせて着席するようになる。
- ② 困っている人を助ける、困った時助けを求められる雰囲気ができる。
- ③ 子ども身の周りの環境を整えようとすると姿勢ができる。

◇ 実施上の留意事項、研修実施上の課題

(釧路管内小中学校初任者研修)

○時間と内容

- ・ 2時間という設定だったので、前後編に分け、「4類分類」まで複数回のワークを行った。効果的であった。
- ・ 参加者の表情が硬かったため、アイスブレーキングを行った。雰囲気や和らぎ、その後のグループワークも、スムーズなものとなり、効果的であったと感じる。しかし、その分、後半が押しすぎてしまい、ワールドカフェをギャラリートーク風に変更することとなった。今後は、むしろ最初からアイスブレーキングを計画に入れておいた方がよいのではないかと考える。
- ・ 写真やビデオを多用し、場面を具体的に提示することができた。受講した初任者が、各自現場に戻ってから「かくれたカリキュラム」に留意して自分の実践を見直すことにつながりやすくなったと考える。

○使用教材

- ・ パワーポイント（ビデオ視聴のためスピーカーも使用）
- ・ ホワイトボードと画用紙、水性ペン、付箋紙
- ・ リフレクションシート2種類

○形態

- ・ 比較的人数が多かったので、4人によるグループワークを基本とした。不足のところには、釧路教育局の担当者が入ってくれて助かった。

○成果と課題

- ・ リフレクションシートを見ると、内容はよく理解されたようである。一人だけ「少し腑に落ちた」と書いた初任者がいたが、その記述内容や事後に自分の実践から「かくれたカリキュラム」を探したのを見ると、かなり深く理解していることが伺えた。
- ・ 今後日常的に「かくれたカリキュラム」を窓口に自己の実践をブラッシュアップするためには、年度内のどこかでの繰り返し研修することが必要と考える。

○その他

- ・ 録音の文字起こしを教育局に担当していただけて助かった。ビデオもDVD化するようにしたい。
- ・ ワークに使った付箋紙や、画用紙類の映像化などをあらかじめ打ち合わせしておかなかったために、事後に活用することができなかった。今後は、記録化までを見通しておきたい。
- ・ 講師の発言はピンマイクにより録音し、文字起こしすることができた。初任者の発言もハンドマイクで講師の発言と一元化して録音すると良い。

V その他

- ☆「キーワード」 隠れたカリキュラム
- ☆「人数規模」 D. 51名以上
- ☆「研修日数（回数）」 A. 1日以内（1回）

◇ 教員研修モデルカリキュラム開発プログラム連携協議会メンバー一覧

氏 名	所 属 ・ 職 名
武 藤 久 慶	北海道教育委員会学校教育局次長
中 澤 美 明	北海道教育委員会学校教育局義務教育課主幹
川 端 香代子	北海道教育委員会学校教育局義務教育課主査
伊 藤 伸 一	北海道教育委員会学校教育局義務教育課主査
菅 沢 企 城	北海道教育委員会学校教育局義務教育課主任
横 藤 雅 人	北広島市立大曲小学校校長（学校力向上に関する総合実践事業指定校）
山 田 洋 一	北広島市立大曲東小学校教諭（学校力向上に関する総合実践事業近隣校）
笹 森 健 司	千歳市立勇舞中学校教諭
宇 野 弘 恵	旭川市立愛宕東小学校教諭
近 藤 真 司	恵庭市立恵み野旭小学校教諭
北 河 剛 治	北広島市立大曲小学校教諭（学校力向上に関する総合実践事業指定校）

【連携先】

民間教育研究団体「北の教育文化フェスティバル」

【問い合わせ先】

北海道教育委員会学校教育局義務教育課

〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階（TEL 011-204-5770）